

ナルヲ感ス

二、農村保護上ヨリ見タル反対

近來農村疲弊ノ因ヘ地方費、膨脹左
ルヲ速ニ地方負担ヲ減少シテ之ヲ政治ヲ圖ルキナリ、義務年限延長因テ
生え経費、國庫支辨屬スト雖も同時地方費モ亦増大ス(キコト明ニ農
村ノ堪へ得ル所ニテ^且今日農村上ニ寧古効果ノ明確ナル農業補修教育
ノ充實ヲ歓迎スルモテ若ニ國庫ニ於テ全費用ヲ負担シ累々農村ニ及チサヌセ

年限延長ヲハ補修教育、擴張ニ力ヲ用ヒラシコトヲ希望ス

三、教育制度改革ノ急要ヨリ年限延長ヲ早トモモ

ハ甚シキ缺陷アルヲテ根本的改革ヲ施サル(カラス)漫ニ歐米ノ例貞五年限
延長、加キ外形的事項ヲ摸倣セントハ深ク教育ノ眞髓又ノ長所ユ採
用スルニロカス目下我八學教育、缺陷ハ(第一)試験制度四ハシ唯試験其備
為ニ汲々トシ往々過度、注今迄之人物、作成、徳性、涵養ヲ疎外スルノ憾
アリ(第二)教員未熟ナル上時多數生徒ヲ教授スルトニヨリ個性ノ啓發ニ

力ヲ致ス能ハシ從テ成業後實用ニ適セス(第三)一般家庭ト連絡ヲ缺キ学
校ハ全ノ家庭、外ニ隔絶シテ教化ノ能率薄弱左ヲ免カレシ其他舞多改革
ヲ要スルモノアリテ從来ノ教育方針、下ニ於テ八年限ヲ延長スルモ其ノ効果疑フ
ノニテ^{ナニ}却テ弊害ヲ助長スルモノナシセス故ニ^{シテ}經費ヲ増大スルナラハ先ツ
教育方法ノ革新、師範教育ノ擴充、教員ノ待遇改善等ニ傾注シ
ヲ囁緊トシ其成果ヲ待テ徐ニ年限ヲ延長スルヲ以テ順序トスヘシ

国債整理基金

造船局作業部

賄賂國庫證券收入金

特別會計整理案

本會會計裏に我財政組織整理方案キ、トシテ特別會計整理ヲ聲明シタ
ルカ更ニ細目ニ亘り審議未元々具體案キヲ決定スルコト左ノ如ク

第一 左諸特別會計之ヲ廢止シテ一般會計移し當該關係各有所管トシテ

之ヲ整理スルコト

(三) 外務省所管トスモノ

在外國專管居留地

對支文化事業

(理由) 在外國專管居留地、會計ハ單ニ席園、領土外ニシテ遼陽、地アリ
居留地經營、收支ヲ取扱フ為ニ過キサルナリテ一般會計ニ併合シ收支ニ通
富、款項ヲ設ケテ整理スヘレ

對支文化事業、清園園避事件賠償金、收入ヲ基礎トシテ運用利殖
得タル收入、織方ヨリテ對支文化開元施設ヲ行フモニシテ基金運用利

殖、積金部委託一般會計内於テ運用利殖金ヲ收入トシテ對支文化施設

(三) 内務省所管トスモノ

朝鮮總督府、朝鮮醫院及濟生院、臺灣總督府、閩東廳、樺太廳
及南洋廳

(理由) 以上殖民地會計ハ其性質一般會計等キモニシテ單ニ收支ヲ生ス乎地ク本土
ニ遠隔セニカ為ニ特別會計ト為セニ過キヌ又朝鮮醫院及濟生院ハ官營事業
、計算整理上便宜、為ニ設ケルモナリ故ニ是等ハ總工一般會計於テ經營中
臨時兩部門ニ適當收支款項ヲ設ケテ整理計算シ資金部ハ之ヲ廢止スヘ
(三) 大藏省所管トスモノ

國債整理基金

造幣局作業部

臨時國庫證券收入金

賠償金、國有財產整理基金

(理由) 國債整理基金ハ國債元利償還キ賠償金ヲ一般會計並各特別會計ヨリ日本會計、計算ニ収入した後支拂モノレテ只借替ハ本會計ノミニ於テ收支計算ヲ行モ、たゞ總テ之ヲ一般會計ニ移し直接元利償還及借替ヲ行フコト、スヘシ造幣局作業部特別會計ハ元來材料素品購入其他固定及運轉資金等計算整理上便宜為設ケルモノ、一般會計併合シ造幣局收支ニ對ニ款項ヲ設ケテ計算整理を於テ別段ノ故障見ス

臨時國庫證券收入金ハ為替貸資金、調達其他ハ為メ内債ヲ算分集シ支那露國佛國等對外債權放貸セリモノニシテ所謂運用會計ニ属ルモノカ支那露國等債權對外收入ハ大正七八年以降杜絕シルモノニシテ大正十五年以後至り猶ホ對外債權收入ナキ於テハ本會計ハ元利貸資金ナク一般會計ヲ補給セサヘカニルカ由、狀態ナルヨリテ一般會計ニ併合エラ適當トス

賠償金及國有財產整理基金ハ何モ一般會計ニ属ス(キモ千七百賠償金、獨逸)

賠償問題、紛糾ヲ慮リ賠償品保管販賣等、為メ又國有財產整理基金ハ官有物拂下因テ得ル資金ヲハ各首ニ於テ營繕等、特定財源充當田元等、為便宜上設ケルモノニ遇キス右共ニ一般會計ニ移シ歲入ハ官有物拂下併合シ歲出ハ各首ノ營繕費及賠償金所定ノ支岡科目ヲ以テ計算整理スヘシ

(四) 農商務省所管上記モノ

製鐵所

牛仔製絨所

米穀需要調節

專務官作業部

(理由) 次に各會計ハ何モ造幣局作業部、如ク官營事業、計算整理局スルモノシテ材料購入貯藏製品其他、保管販賣等、取扱上並ニ固定及連轉資本金等計算整理等於一般會計法規ニヨリ不便ナリトス、理由ニヨリ

各特別會計ヲ設定シルモノナリト雖モ既電信電話事業及陸軍糧秣衛生材
料大營等官營事業一般會計内於テ田滑整理せん、ノ毎月例二徵スルモ
特別會計トシテ存置元必要ヲ認メス一般會計下ニ歲入ハ物品拂下代及雜收入
トシ歳出ハ各事業費材料產品ハ購入保管トシ運轉資本金、大藏省證券
ニシテ固定資本即チ織械器具等ハ備品トシテ整理スヘシ

前記諸會計ヲ農商務省ニ管轄セシメテハ事業性質相近シテ之ヲ統一セラム為ナリ而シテ是等事業中官督トシテ繼續ルノ事ナリ相農田整理主要元モノアリ之對シテ別考允スルコトニシテ本項ニ於テハ依然政府ノ手ニ在ルモイトシテ其所管ヲ定メタリ

(五) 送信者所管トモノ

竹内易生命保険
(理由) 一般會計に併合し當該科目ヲ設ケ收支ヲ計算整理し其資本預金部ニ於テ運用セラソ那便游全統ニ保タニメシトス

卷之五

(理由) 帝國鐵道既往於一般會計上屬之者も實質上鐵道收入激減し鐵道建設改
良事業為上般會計累及致之事、從而明治四二年度以降鐵道ヲ特別會計
トナシ全部獨自會計セキタリ、然ニ之實際之ヲ為收支明確ヲ欠キテ當局者專斷ヲ促
カシ又一般財政ト連絡調節即田畠土木等情勢變換出レテ特別會計整理聲ハ帝國
鐵道對此高唱セシム、今後殖民地會計ニ於ケル鐵道收支、如一般會計ニ於テ歲
入鐵道收入歲出建設改良費運輸諸費等、科目ニテ整理計算スヘン

(理由) 造兵廠、舊東京及大阪砲兵廠を合併したモノニシテ、從來兩工廠の豫算が毎年必ず若干一千四、萬入超過トハカロナキ杜撰尤計算ヨリテ各々特別會計下ニ利益ヲ陰匿スル痕アリト称えル、所以ナリ最モ整理必要アルヲ認ム

(八) 海軍有所營求

陸軍造兵廠

ナリト稱セラル、所以ナリ最も聖

海軍工廠、海軍火薬廠、海軍燃料廠

(理由) 陸軍於九造兵廠同之般會計移スニトラ各々理由ヲ見ス

(九) 文部省所管トスルモノ

東京、京都、東北、九州、北海道各帝國大學、官立大學、學校及圖書館

(理由) 以前一般會計、屬ヒテモ各學校併來獨者當セキルノ方針ニヨリ剰餘金運用利殖セニ左為特別會計ヲ設ケト称セリ然ヒモ實際ハ他事情ニヨリ發生シルモノニシテ會計於テハ其必要ヲ認ムス一般會計、下ニ歲合名學校收入雜收金シ専當於モ各學校名款項ヲ設ケテ之整理スニ

第二、左記特別會計ハ全然之廢止スルコト

(二) 公債金

(理由) 有新規募集ヲ行ヒ各所要會計へ移換元手續上、計算整理、為ミハ會計過キス
シ所謂通ハ抜ケ勘定ナリ現在テリテ一般會計並特別會計、收支ト表ト相交錯重複セ
ルモノナカ故、單ニ取扱上便宜、為設ケタルモノニシテ本會計ハ廢止充モ格別支障ヲ來スト

ナレハ、一項至四項並何を整理、為ミ通ハ抜ケ勘定ナリテ本項ト同理由、下ニ同、處置

ヲナスヘン

(三) 大藏省預金利子

(理由) 本費ハ預金部、關聯部モニシテ即便貯金對利子ヲ計算、充堪各一般會計
ニ其前渡、度々繕ケ縛白運用收入以テ其金額、償還ス即ハ通ハ抜ケ勘定ニ通キス前項
同様廢止充可ナリ

(三) 陸軍官舎費補充資金

(理由) 陸軍之存元モニシテ土地建造物產生之收入其他ヲ歲入ト、陸軍經費、為メ
保存在會計ナル特存置、要ヲ見ス

(四) 臺灣官設鐵道用品資金

(理由) 鐵道材料ヲ收支元會計丸モ前同断整理セルキモナリ

(五) 教育基金

(理由) 清國僑金一部ヨリ災害準備、軍艦水雷補充、教育等所謂三基金制

(六) 大體計上會計上

五

度、由唯一殘存也。今カ日露戰役、軍資金トシテ一〇、五四〇、マラロ田ヲ一般會計借入金トし、運用に残額三五万餘圓ニ對し、年々一万五千円ノ利子收入凡ミニ何等教育ニ關する施設ナ、軍ニ名目上、會計ニ過キサル事テ宜シテ之ヲ廢止し、公債候却ニ元當田ヘシ。

(六) 造幣局資金部、名帝國大學資金部、官立大學資金部、學校及圖書館資金部、朝鮮醫院及濟生院資金部

(理由) 右資金部ハ各自独立自営ノ為、設ケル制度たる是等、其必要キカ又ヘ其實現期迄ニト困難たり故ニテ廃止し、現在資金ハ總テ公債候却ニ元當田ヘシ。軍附三ツ特別資金ミテ預金部ニ預入し、運用利益セヨ。

(七) 貨幣整理資金

(理由) 造幣局一般會計併合シ之ガ收支科目ヲ設ケテ計算整理元以六現行如リ材料、金庫ノ換定貯藏並ニ買入資金等、為ノ資金ヲ保有たノ必要免サレハニテ廃止シ、現存資金ハ公債候却ニ元當田ス。

(八) 臨時軍事費

五

(理由) 歐洲無亂、蘭聯先本邦軍事費用ニテ、戰局終結後數年ヲ経過シ、各會收支、不明確な會計ニ存置シ不可ルニトヘ世間ノ普ク認ムル所ナリ、殊ニ薩哈連、撤兵モ早晩實行セシム、總令猶古暫時駐兵スルモ其ノ殘存期間中ハ、陸軍省一般會計中、相應科目於テ計上スルハ可ナリ。

預金部改造案

速預金部、改造ヲ實行シ其骨子大體左記スルコト

一、預金部ハ大藏省所屬、特別機関トシ御使貯金、御使店替資金、簡易生命保険資金、其他類似、資金ヲ統一シテ當部、寄託利廩セシムコト

二、預金部、資金運用及其貸出利率ヲ決定シテ運用委員會ヲ置クコト
三、運用委員數十名以内トシ其三分之江六民間ヲ任命スルコト

日本銀行總裁、日本勸業銀行總裁、日本興業銀行總裁ハ委員ニ加ムコト但民間ヨリ任命充委員ハ此以外タルコト

大藏大臣ヲテ運用委員長ニ任命スルコト

四、預金部、資金運用ハ法律ヲ以テ之ヲ限足ス但し法律實施際ニ之抵觸

ハ運用中、資金ハ或ヒ時期マテニ之整理スルコト

五、預金部監理委員ヲ設置スルコト

委員長ハ會計検査院長ヲ以テ之ニ充テ委員ハ貴族兩院議員中より各若干名ヲ任命スルコト

1. 資金部、大藏省、理財課、支那事務課、舊錢鑄造課、鑄紙幣鑄銀錢課、監
察官課、大藏省、理財課、支那事務課、舊錢鑄造課、鑄紙幣鑄銀錢課、監

辯啓去九日、總會附議致以預金部改送票及特別
會計處理案、前名「運用委員三日票」銀內另二
特別銀行總裁加給一項削除、以外原無通、
可決致以後者、對支文化事業及各種作業特
別會計、一般會計統一整理、運事不可ナリト、意見ヲ
生じ作業特別會計、官業起止、會計研究ノ、要ヲ生
レムニ日東北十六日(火曜日)午後五時半至移居南鍋町事
務所於委員長處開キ左、議案三件、付假議案上交
ノ旨審査會下至為件、政府、財政部理案上開
係上席、早、在席、意見表、運改、存各何事
由律在出席、上交本不付、報文形也

大正十三年九月十九

田中鐵三印様

議案

經濟改進會審議書立鐵次郎

- 一、預金部改送票理由書案
一、特別會計中左記諸項、總會理方案
對支文化事業、造幣局作業部、印刷局作業部、
牛住製紙所、製鐵所、米穀需用調節部、專
賣局作業部、簡易生命保險、陸軍造兵廠、海
軍工廠、海軍火藥廠、海軍燃料廠、造幣局
資金部
一、官業整理案

本會ハ義ニ我財政組織改善方案ノ一要項トシテ特別會計ヲ一般會計ニ統一スルノ方針ヲ樹立シ且必要ナキ基金資金等之ヲ廢止シキコトヲ聲明シタリ其ノ理由ノ大要ハ兩種會計政併立重複過爲ニ我財政ノ眞情ヲ明白キスル能ハスシテ歲計ノ混亂又來設メミナラス特別會計ノ豫算總額ハ一般會計ニ比シ遙ニ多大ナ矣モ國民ノ監視ヨリ脱却シテ容易ニ議會ヲ通過スルカ故ニ豫算ノ編成ニ慎重ヲ缺キ且之力實行ニ方リ特別會計ノ將内東懸レ濫費放肆ヲ招致スル等弊害續出セリ現ニ特別會計ノ數三十有七添及ヘルカ如キハ世界類例無キ所ニシテ我財政ノ弱點ヲ暴露スル施設ナル以テ速ニ之カ整理ヲ必要ト云ストニ在此係精神ニ基キ爾來各特別會計ニ就キ審議ヲ爲シ之カ具體的整理方案ヲ決定ス當日ナ左如モツル豫算ナリ基金ノ運用利殖

第一 特別會計整理案

本會ハ義ニ我財政組織改善方案ノ一要項トシテ特別會計ヲ一般會計ニ統一

スルノ方針ヲ樹立シ且必要ナキ基金資金等之ヲ廢止シキコトヲ聲明シタリ其ノ理由ノ大要ハ兩種會計政併立重複過爲ニ我財政ノ眞情ヲ明白キスル能ハスシテ歲計ノ混亂又來設メミナラス特別會計ノ豫算總額ハ一般會計ニ比シ遙ニ多大ナ矣モ國民ノ監視ヨリ脱却シテ容易ニ議會ヲ通過スルカ故ニ豫算ノ編成ニ慎重ヲ缺キ且之力實行ニ方リ特別會計ノ數三十有七添及ヘルカ如キハ世界類例無キ所ニシテ我財政ノ弱點ヲ暴露スル施設ナル以テ速ニ之カ整理ヲ必要ト云ストニ在此係精神ニ基キ爾來各特別會計ニ就キ審議ヲ爲シ之カ具體的整理方案ヲ決定ス當日ナ左如モツル豫算ナリ基金ノ運用利殖

文具體略錄卷之三

モ及要イヌイハニヨリ出ヘズ輪ニ基キ爾來合耕民會信ニ類キ審端ニ獄シ
果隣國無キ祖ニシテ姓根姓ヘ隸體モ暴露スル子ノナハシ以モ脛ニシテ鑿堅
ミ辟庭スル善惡害辭出ナリ是ニ耕民會信ヘ遷三十有九ニ达ヘル次限キヘ世
續莫ヘ誠知ニ鄭重モ知キ且ハ次實音ニ式リ耕民會信ヘ社内ニ鑿ノ鑿費既報
此シ蟲ニ多大セバ子國男ヘ盈馳ヨリ強味シテ容易ニ歸會モ亟蹶スル也姑ニ
詣ヘヌシモ齋指ヘ號稱ミ來スルシセミク耕民會信ヘ續莫縣賸ハ一遷會信ニ
リ其ノ題由ヘ大要ヘ兩蘇會信ヘ沿立重跡ヘ爲ニ姓根姓ヘ眞計モ昭白ニスル
スルヘ古怪ニ隣立シ且及要ナキ基金資金ヘ玄モ麌五ヘキロイセ響體シモ
本會ヘ彝ニ姓相延繼鄰近善古案ヘ一要取イシテ耕民會信モ一遷會信ニ蘇ニ

群匪會信鑑題案

第一、在外專管居留地
(理由) 在外專管居留地ノ會計ハ單ニ帝國ノ領土外ニシテ遠隔ノ地ニ在
或ハ云フ他國ニ於テ即ニ賠償金ヲ支那ニ還付セルニ方リ我國力猶ホ之ヲ
ル居留地經營ノ收支ヲ取扱フ爲ニ過キサルヲ以テ一般會計ニ併合シ
收支ニ適當ノ款項ヲ設ケテ整理スヘシ
二、對支文化事業
(理由) 對支文化事業ハ清國團匪賠償金ノ外ニ我國ノ山東ヨリ得ル收入
ノ一部即チ公有財產、鐵道及鑛山ノ補償金ヲ財源トシ之ヲ運用利殖
ニスルト否トヘ自ラ別儀ノ問題ナリシテ其ノ收入中ヨリ對支文化ニ關スル施設ヲ行フモノナリ最近右財
三、造幣局
源ノ合計額六千四百餘萬圓ニシテ之ニ因ル歲入ハ三百八十餘萬圓ヲ
計上シ其ノ中二百五十萬圓ヲ歲出ニ充ツル豫算ナリ基金ノ運用利殖
四、陸軍造兵廠
計上シ其ノ中二百五十萬圓ヲ歲出ニ充ツル豫算ナリ基金ノ運用利殖

精土々其ハ中二百五十萬圓ニ歳出ニ流ぐハ斂草セリ基金ハ軍用候
モ必要無く合併額六千四百翁圓ニシテムニ因ル歳入ヘ三百八十翁萬圓ニ
異議有リテ其ハ收入中モリ特支文外ニ關スル賦税モ合てモセリ此後
支那姓ハ一派明ヤ公官和童販賣童販賣山ハ賦税金モ相應イセキモ軍用候
精草(駐由)特支文外事業ハ青岡頭部資金ハ找ニ青岡入山東モリ縣ハ收入
其ニ特支文外事業ヲ開拓ヘ置業ニモ運営ニ通じス此後ニ
諸ハ支ニ適當ハ堤頂モ堀モ堀モセリ難野入ヘシ會計ハ類似諸端ハ一連會計ニ
其ハ現留銀餘額ハ支ニ如支ニ如支ニ如支ニ如支ニ如支ニ如支ニ如支ニ如
支(駐由)支那青岡留銀ハ會計ハ單ニ帝國ハ爵士代ニシテ嘉爾ハ此ニ支
本金ハ亦代專管留銀如前改參ハ一要項イシモ都城會計モ一對會計ニ如

業一一賛會計ニ終スヘキニ

ハ之ヲ預金部ニ委託シ其ノ收支ハ特別會計ヲ以テ整理スルモ今後ハ一般
會計内ニ於テ運用利殖金ヲ收入トシ對支文化施設事業ヲ支出科目トシテ
整理スヘシ但シ年度末ニ豫算剩餘金アラハ之ヲ一般剩餘金ニ組入レスシ
テ預金部ノ基金ニ戻入スルコトハシ特ニ法規ヲ以テ此ノ點ヲ明ニスヘシ
或ハ云フ他國ニ於テ既ニ賠償金ヲ支那ニ還付セルニ方リ我國力猶ホ之ヲ
留保セルコト恐ラクハ支那國民ノ不満ニ感スル所ナシント然レトモ現情
ニ於テハ支那政府ノ手ニ渡スヲ得ス我政府ニ於テ之カ善用ニ務メ且其ノ
收支ヲ明白ニシ他ニ流用セサルコトヲ示サハ可ナリ會計上ノ整理ヲ特別
ニスルト否トハ自ラ別箇ノ問題ナリ止遊ニ固定及運轉資本金等ノ計算整理
三造幣上局^上會計法規ニシテ不便ナシ云フニ在リ然レトモ現ニ電信電
四、陸軍造兵廠^上及陸軍糧秣衛生材料火藥等ノ官營事業カ一般會計内ニ於テ圖
五、海軍工廠資金^上理セラルハノ實例ニ徵スルモ特別會計トシテ存置スルノ要ヲ

兵庫軍工廻資金

四、陸軍兵営

合計額六千四百萬圓をもとより、貯蓄入は三百八十九萬圓をも

三、營、營、同

ニスハ否イハ自モ昭和、問題セリ
外支即白ニベ、廻ニ資用ナセルニイモ示せハ、何ナリ、會指生ハ、樂野モ、御用
ニ外テハ、支那通商ハ、手ニ資スモ、野ス、支那通商ニ外モ、玄武善用ニ蘇ケ且其、
留保ナルニイ際モ、ヘ、支那通商、不滿ニ處スハ、祖セモ、ノイ然ノイチ、與計
貢ハ云、財團ニ外モ、鴻ニ一部、資金ミ支那ニ、収益ナルニ式リ、財團、大蔵本立モ
テ、資金、基金ニ、見入スルニイ、財團ニ、出賀モ、以テ、此、課モ、即ニスヘビ
樂野スヘビ、且、手裏未ニ、資、草、陳、翁、金、て、モヘニ、一、陳、翁、金、ニ、勝、入、ス、シ
會指内ニ外モ、頭用、底、陳、金、モ、外、入、イ、之、支文、出、賦、事、業、ミ、支、出、株、目、イ、テ
ハ、ト、モ、財、金、浦、ニ、委、瑞、ム、其、ノ、外、支、ハ、大、藏、本、立、モ、樂、野、ス、ル、モ、今、第、ハ、一、號

六、海軍火薬廠

七、海軍燃料廠

八、米穀需給

（理由）以上ノ諸會計ハ、何レモ、作業的特別會計、ニ屬スルモノナリ、（海軍

工廠資金ハ、名ハ、資金會計ナルモ、實ハ、作業會計ニシテ、陸軍造兵廠ト同
一ナルヲ以テ、便宜本項中ニ包含シメタリ、此等ハ、特別會計トシテ
存續スルヲ可ト、スト主張スルモノアリテ、其ノ理由ハ、材料購入貯藏製
品其ノ他ノ保管販賣等ノ取扱上並ニ固定及運轉資本金等ノ計算整理
上一般會計法規ニヨルヲ不便トスト云フニ在リ、然レトモ現ニ電信電
話事業及陸軍糧秣衛生材料火薬等ノ官營事業カ一般會計内ニ於テ圓
滑ニ整理セラル、ノ實例ニ徵スルモ特別會計トシテ、存置スルノ要ヲ

六軍火藥庫
支文部庫事數
支出様目イニテ

會指イサハムニ過音ニ臥當スハ外支數真天要スハ姑ニ根廻ヘ斟酌
資本ニ圓央駿轉メテ事業ハ吾體ニ馳騒スルハ極要ナリ苦々一題
獎品ミ其間ニテ掛餘スルノ銀ニ官公間ヘ指算競勝ニ且回外ナモノ
不取頭ニテ天子寧ロ一過會指上様ニスル天帝鑑逐オ難チ此卷ヘ其ノ
キニイ外ニ精進スハ仄眼ヘ掛入四會指ニ生リテチ其ノ跡入及スルチ
干五連轉相處要避祀アヒ帝國競藝ニ關ミテハムモ一過會指ニ勝スヘ
ム土入农耕業相耕此會指ニ懶スハ子ハ天帝國競藝ニ昭暉鼠・其裏賣風
日テ驕氣レ國家資本也モ妙好器具等ハ勸品也テ鑑點スヘシ諸軍
八米一畠ニ東ニ谷耕業培養ニ家賸ニ宝々尚本不足ヘ場台ヘ大藏省鑑卷ニ
中植株素品ハ輸入料晉イシ又掛置駿轉資本金ハ掛置駿轉資本金ヘ丁ニ
六猶原ヌ一過會指ヘ干ニ類人ハ時品對不外久據郊人シテ類出ハ谷耕業費

ニテハ編成上困難ナシトセサルヲ以テ姑ク現狀ヲ維持セシメムトス
但シ政府ノ經營セル作業ノ中ニハ其ノ性質上又ハ採算上寧ロ民業ニ
九、帝移スヲ以テ有利トスルモノアリ我工業幼稚ナリシ時代ニ在リテハ政
理府ノ力ニ待ツコト已ヲ得サリシト雖モ今ヤ一般工業ハ長足ノ進歩ヲ
遂ケ民間ニ於ケル資本ノ調達亦困難ナラサルヲ以テ出來得ル限り官
業ヲ整理シテ之ヲ民業ニ移スコトハ政府財政并以關係ヲ絶チ積弊ヲ
排除シ得ルノミナラス事業ノ喫達計亦有利ナルヲ信ス故ニ今后精密
ナル考究ヲ遂ケ着邊外シテ整理建斷行止歩ヲ進ムルノ必要アルヲ認
ムホスニ至リタルヲ以テ明治四十二年度以降一般會計トノ關係ヲ絶
又總テ作業的會計計屬スルモノハ一般會計ナルト特別會計ナルトヲ
問ハス法規ヲ以テ其ノ資產狀態及收支ニ關スル報告ヲ公表スルコト

間ハニ忠誠モニシテ其ノ貪慾懲惡又如文ニ關スハ辨吉ニ公表スハニイ
又驕モ事業箇會信ニ關スハチヘ一過會信モハ不辨既會信モハイモ

品々氣節モニシテ其ノ貪慾懲惡又如文ニ關スハ辨吉ニ公表スハニイ

モハ零錢モ多モ蓄メイシモ鑿掘ヘ潤音ニ志モ雖ムハ、後要テハモ鑿
掘網モ辟ハヘシモテニス事業ヘ更敷土亦貢麻ナハニ計ス姑ニ今過誤密
業モ鑿掘モテニモ事業ニ鑿スヒイハ如何極也イハ關税モ鑿モ鑿業モ
鑿モ過誤ニ致モハ資本ヘ歸還未困難ナニセんモ以テ出來豈ハ題シ官
領ヘ代ニ耕バニトヨモ耕セリシト並ニヤ一過工業ヘ是虫ハ垂走モ
過誤ヘモ過誤ヘ是虫ハ中ニヘ其ノ掛賣土又ハ耕穀土等ロ因業ニ
田ノ過誤ヘ是虫ハ中ニヘ其ノ掛賣土又ハ耕穀土等ロ因業ニ
ニモハ蟲丸土困難ナシトナセハモ以テ蟲丸蟲丸モ蟲丸ナシ

ヲ命シ且租稅其ノ他民業ノ負擔スヘキ當然ノ支出ハ官業ニモ同様之
ヲ賦課スルコト、シ以テ採算ノ基礎ヲ明ニスヘシ

九、帝國鐵道

(理由) 帝國鐵道亦作業的會計ノ一ナルモ特ニ重大ニシテ事業ノ性質他
ニ特絶セルヲ以テ各作業ト切離シテ之ヲ掲記シタリ元來帝國鐵道ハ
初期三於テハ一般會計ニ屬セシカ明治二十四年以降特別會計ノ制度
ヲ設ケ益金ハ一般會計ニ繰入レ建設改良費ノ負擔ハ一般會計ヨリ支
出シタリ然ルニ鐵道收入激減シ建設改良事業ノ爲メ累々一般會計ニ
及ホスニ至リタルヲ以テ明治四十二年度以降一般會計トノ關係ヲ絶
チ名實共ニ特別會計トシ全然獨立自營セシメタリ然レトモ實際之力
ニ收支ノ明確ヲ缺キテ當局者ノ專斷ヲ促カシ又一般財政トノ連絡

爲ニ專支ヘ即ちキ賄キテ當賦答ヘ裏潤ニ對スレバ又一難棟廻イヘ重務
モ各實共ニ齊眼會信イヘ全然獨立自營サシベリ然ノイチ實業文
處本スニ至リハモ以テ民部四十二年更以劉一燭會信イヘ關係ニ除
出シ又ノ然ハニ過甚郊入過甚シ事體既貞肆業ハ爲ニ累シ一燭會信ニ
モ茲で益金ヘ一燭會信ニ繕入シ事體既貞費ヘ貢獻ハ一燭會信ミ即支
財賦三式モハ一燭會信ニ圖サシ又民部二十四年更劉齊眼會信ヘ歸製
ニ耕跡サハ未忍テ各事業イ即職シテシモ耕疇ヘ及リ元來帝國鐵道ハ
(理由) 帝國鐵道本業即會信ヘ一燭ニ重大ニシモ事業ヘ對賛即
大帝國鐵道を齊眼イスハ手入り更工業即路モリシ和洋ニ有リテヘ過
ミ類似スハニイ。ヘ過テ社員ヘ基於ニ即ニスヘシ宋襄土號。对來ニ
モ命シ且耕跡其ヘ計別業ヘ負擔スヘキ當然ハ支出ハ自家ニモ同耕立
調節圓滑ナラサル等ノ情弊^堆積シテ特別會計整理ノ聲ハ帝國鐵道ニ
對シ特ニ高唱セラレツ、アリ殊ニ老大ナル一省ヲ舉ケテ特別會計ト
本スルカ如キハ實ニ他國ニモ見サル異例ニシテ大臣以下官吏俸給ノ如
キ悉ク特別會計ノ下ニ支出セラレ他ノ官省ト全ク均衡ヲ失ヘルハ最
及モ怪トスル所ナリ宜シク斷然整理ヲ加ヘ殖民地會計ニ於ケル鐵道收
他支ノ如ク一般會計ニ於テ或入ハ鐵道收入歲出ハ建設改良費運輸諸費
テ等ノ科目ヲ以テ整理計算スルコトニスヘシ等ノ債權ニ對スル收入
十、國債整理基金降杜絶シタルモノニシテ大正十五年以後ニ至リ猶ホ
十一、臨時國庫證券收入金於テハ本會計ハ元利資金ナク一般會計ヨリ補
十六、賠サ償ヘ金ラサルカ如キ狀態ナルヲ以テ一般會計ニ併合スルヲ適
十三、國有財產整理資金

十三、國本種塗鑿野資金

十二、額資金

十一、國軍鑿卷收入金

十、國資鑿野基金

卷、科目に於て鑿野信義スハニスヘシ

支、吸々一過會信ニ氣テ、大人ハ、齋童郊人廻出ハ、其處貞寶鑿野費
チ、卷、イヌル西ナリ宜シ、而ノ、國、農、鑿野、信、モ、吐、ヘ、厭、五、此、會、信、ニ、氣、シ、
キ、悉、キ、耕、民、會、信、キ、不、ニ、支、出、サ、ミ、ノ、斯、ク、百、音、イ、全、ク、良、潤、モ、夫、ヘ、ハ、景
ス、ハ、次、眼、キ、ハ、實、ニ、耕、國、ニ、チ、良、セ、ハ、異、固、ニ、モ、大、豆、以、不、官、東、耕、餘、ヘ、吸
機、シ、耕、ニ、高、間、サ、モ、ノ、ゲ、テ、リ、耕、ニ、家、大、ヤ、ハ、一、首、モ、舉、モ、モ、耕、民、會、信、イ
碼、頭、圓、留、マ、セ、ル、卷、ヘ、前、樂、鑿、野、シ、テ、耕、民、會、信、鑿、野、ヘ、帝、國、越、鑿、ニ

(理由) 以上何レモ所謂資金基金特別會計ノ一部ナルカ國債整理基金ト

ハ國債ノ元利償還ヲ要スヘキ資金ヲ一般會計並ニ特別會計ヨリ一旦
本會計ノ計算ニ受入レタル後支拂フモノニシテ唯借替ハ本會計ノミ
ニ於テ收支計算ヲ行フモノナリ是ハ一般會計ニ移シ直接ニ元利償還
及ヒ借替ヲ行フヘシ次ニ臨時國庫證券收入金ハ爲替資金ノ調達其ノ
他ノ爲メ内債ヲ募集シ支那露國佛國等對外債權ニ放資セルモノニシ
テ所謂運用會計ニ屬スルモノナルカ支那露國等ノ債權ニ對スル收入
十五、朝ハ大正七、八年以降杜絶シタルモノニシテ大正十五年以後ニ至リ猶ホ
十六、對外債權ノ收入ナキニ於テハ本會計ハ元利資金ナク一般會計ヨリ補
十七、開給セサルヘカラサルカ如キ狀態ナルヲ以テ一般會計ニ併合スルヲ適

十八、當トス

十餘才せふへ次々せふ次々吸キ走憩才ハモ因テ一逃會信ニ押合スハモ敵
十陸代貢納ヘ逃入キニ死モヘ本會信ハ元時資金才モ一逃會信モリ解
十八大玉才八半邊御出辭モハチニシモ大五十正半邊ニ至リ敵本
モ泄露要甲會信ニ麗スハ子ヘセハ支那靈國委任代貢納ニ謀スハ逃入
敵又贏又内貢天稟秉ニ支那靈國委任代貢納ニ貢資才ハ子ヘニ及貢
又ヨ音替モ音才ハニ支那靈國車鑑卷逃入金ハ贏替資金ハ匯數其氏却
ニ死モ郊支信裏モ音才ハニ大其量ハ一逃會信ニ跡モ直對ニ元時貢納量
本會信又指算ニ受入ノ國支對支對モニニモ御音替不本會信入ニ取
ハ國貢又元時貢納モ要スヘキ資金モ此會信並ニ都匯會信モリ一旦イ
（註由）因土所モニ泄露資金基金釋明會信入一端才ハ支那靈國基金

一九 賠償金及國有財產整理資金ハ何レモ一般會計ニ屬スヘキモノナルモ
理賠償金ハ獨逸ノ賠償問題ノ紛糾ヲ慮リタルト賠償品ノ保管販賣等ノ
爲メ又國有財產整理資金ハ官有物ノ拂下ニ因テ得タル資金ヲ以テ各
省ニ於ケル營繕等ノ特定財源ニ充當スル等ノ爲メ便宜上設ケタルモ
ノナルニ過キス右ハ共ニ一般會計ニ移シ或入ハ官有物拂下ニ併合シ
成出ハ各省ノ營繕費及賠償金所定ノ支出科目ヲ以テ計算整理スヘシ
十四朝鮮總督府
十五朝鮮醫院及濟生院 北、九州、北海道各帝國大學
十六臺灣總督府
十七關東廳
十八樺 太前廳 何レモ一般會計ニ屬シタルモ將來獨立自營セシムル方針

十八章 太 鵬

十九、關 東 駛

十六、臺灣監督會計

十五、陸軍醫工衛生司

十四、陸軍總參謀

支出へ各首く營繕費外部資金西寧へ支出日々ニテ指揮監理スヘシ
ハニ區キス古ハ共ニ一處會計ニ跡シ廻入ハ官育團體十二指合シ
省ニ例ハ營繕委、督軍、副二武當スハ委ハ區々更宜土邊アタマ子
區々又國育棲童團體資金ハ官育團體ハ特不ニ因テ昇級及部資金モ以テ合
部資金ハ區區、敵資開闢ハ僅精モ肅りシハ十部賞品ハ累晉頤賈委ハ
部資金ハ國育棲童團體資金ハ同ノチ一處會計ニ區スヘキ子ハ十八子

十九、南 洋 廉

(理由) 以上殖民地會計ハ其ノ性質一般會計ニ等シキモノニシテ單ニ收
入ヲ生スヘキ地力本土ト遠隔セルカ爲ニ特別會計トセルニ過キス又
朝鮮醫院及濟生院モ亦官營事業ノ計算整理上多少便宜ノ爲ニ特別會
計トシタルニ過キスシテ是以外重要ナル理由アルニアラス故ニ以上
一大ハ總テ一般會計ニ於テ經常臨時ノ兩部門ニ適當ノ收支款項ヲ設ケテ
整理計算スヘシ項何レモ資金基金特別會計ニ屬スルモノナルカ本資
二十、東京、京都、東北、九州、北海道各帝國大學

二十一、官立大學

(理由) 以前ハ何レモ一般會計ニ屬シタルモ將來獨立自營セシムル方針

(理由) 以頭へ仰マチ一處會指ニ屬シモハ子供來歛立自營ナムハ大怪

二十二、學外文圖書館

二十三、官立大學

二十四、東京・京濱・東北・大阪・北陸・東北・帝國大學

十五、鑿野信義スヘシ

ハ縣モ一處會指ニ属シ疊當而兩端門ニ極當而支糧貢モ歸ヤテ
廿七八九ニ鑿キスレモ是邊代重要七八點由てハニマニス姑ニ以土
頭輪轂又齊主制チ衣官營事業ニ信草鑿土逐必更宜ハ爲ニ群限會
入モ主スヘキ此日本土イ轟翻ナハ大爲ニ森此會指トナハニ鑿キス又
(理由) 以土嚴又此會指ヘ其ヘ對費一處會指ニ等シキ子ニシテ單ニ算

十六、南洋

(理由) 清國債金ノ一部ヲ以テ災害準備、軍艦水雷補充、教育等所謂三
然レトモ實際ハ他ノ特殊ノ事情ニヨリ發生シタルモノニシテ今日ニ
基金制度ノ内唯一ノ殘存セルモノナルカ日露戰役、軍資金トテ本
於テハ其ノ必要ヲ認メス一般會計ノ下ニ歲入ヲ各學校收入及雜收入
基金中ヨリ一〇五四〇〇〇圓ヲ一般會計借入金トシテ使用シ殘額
トシ歲出ニ於テモ各學校名ノ款項ヲ設ケテ整理スヘシ
三十五萬餘圓ニ對シ年々一萬五六千圓ノ利子收入アルノミニシテ何
第二全然廢止スヘキモノ
第三教育ニ關スル施設ナク單ニ名目上ノ一會計ニ過ギサルヲ以テ宜シ
一大藏省預金利子
ク之ヲ廢止シ公債償却ニ充當スヘシ
(理由) 本項以下數項何レモ資金基金特別會計ニ屬スルモノナルカ本費
三、公債金
ハ預金部ニ關聯スルモノニシテ郵便貯金ニ對シ利子ヲ計算シタル場
(理由) 右ヘ新規募集ヲ行ヒ各所要會計ヘ移換スル手續上ノ計算整理
合ニ一般會計ヨリ其ノ前渡ヲ受ケ後日運用收入ヲ以テ其ノ金額ヲ償
還スルモノニシテ即チ所謂通り抜ケ勘定ニ過キス廢止スルヲ可ナリ
接所要會計ニ入ル、モ格別ノ不便ナカルヘシ事例甚ナムモノナル
四、臺灣官設鐵道用品資金管理ヘ親子之支公債ノ償却ニ充當スヘシ單ニ

二、教育基金

二、總會指二處之多，以示來源立自營事之正大，亦甚

(贈由) 本題は不運良所ノチ資金基金幹眼會信ニ屬スル子ノ七八は本費
一大藏督財金財物指ニ領セラ事當而御門ニ應當、近文嘉東
七萬ノ全然違並ヘキテ、是故代重要七八時由てハニテモ大站ニ及上
精誠道出ニ外テ、谷學外各ニ遠取ニ端也テ、壁敷スヘシ
氣テ空其ノ心安ミ端々ス一藏會信ノ才ニ通人ニ谷學外妙人处撲妙人
(贈由) 仁玉賣糸ハ跡ノ計外ノ事也、是謂ニリ、越主之女ハ子ニシモ今日ニ
十六日リ陳糸金ニ貰申脉脈ナシム、此風ニ御武會信ニ端也、是リイ脉ナリ

(理由) 清國債金ノ一部ヲ以テ災害準備、軍艦水雷補充、教育等所謂三
基金制度ノ内唯一ノ殘存セルモノナルカ日露戰役ノ軍資金トシテ本
五陸基金中ヨリ一〇、五四〇、〇〇〇圓ヲ一般會計借入金トシテ使用シ殘額
三十五萬餘圓ニ對シ年々一萬五六千圓ノ利子收入アルノミニシテ何
等教育ニ關スル施設ナク單ニ名目上ノ一會計ニ過キサルヲ以テ宜シ
ク之ヲ廢止シ公債償却ニ充當スヘシ

(理由) 右ハ新規募集ヲ行ヒ各所要會計へ移換スル手續上ノ計算整理ノ
理爲ニスル會計ニ過キスシテ是亦通り抜ケ勘定ナリ本會計ヲ廢止シ直
接所要會計ニ入ル、モ格別ノ不便ナカルヘシ事困難ナルモノナルヲ以

(理由) 金右ハ新規募集ヲ行ヒ各所要會計へ移換スル手續上ノ計算整理ノ理爲ニスル會計ニ過キスシテ是亦通り抜ケ勘定ナリ本會計ヲ廢止シ直接所要會計ニ入ル、モ格別ノ不便ナカルヘシ事困難ナルモノナルヲ以

四、臺灣官公施設用品資金

總理要會信ニ入ハ、子畜眠、不與七廢ハヘシ

（理由）ニスハ會信ニ歟キスミテ最衣紙リ越ヤ國宝モリ本會信モ總立モ直

（理由）古ハ薄慰暴集モ旨コ谷總理要會信ヘ蘇興スハ毛籠土、信莫鑿愚ヘ
三公貢金

（理由）總立モ公貢員味ニ沃富ヘヘ

（理由）總立モ公貢員味ニ沃富ヘヘ
卷教育ニ國スハ頭端モ單ニ各自土ヘ一會信ニ歎キセハモ以テ宜シ
三十正萬緞圓ニ機モ半ム一萬正六千圓ヘ麻手連入テハ、シニシテ河
基金中ヨリ一〇五四〇〇〇〇圓モ一會信計部入金イシモ勅用モ延賄
基金歸還ヘ内却一ヘ委吾ナハ子、七八日露姆茲ヘ車資金イシモ本

（理由）青圓貢金ヘ一端モ以テ災害華南、軍艦木雷船流、教育參照三

（理由）鐵道材料ヲ收支スル會計カルモ唯便宜ノ爲ニ設ケタル通り拔ケ
子勘定ニシテ特ニ臺灣鐵道ニ限リ之ヲ存置スルノ必要ヲ見ズ成シ其ノ
五、陸軍營繕費補充資金ナリ

（理由）土地建物ヨリ生スル收入其ノ他ヲ歲入トシ陸軍ノ經費ノ爲メ保

（理由）存スル會計ナルモ特ニ陸軍ニ限リ存置スヘキ必要力シ當然廢止スヘ

シシタル今日非常ノ機會ニ處スル變則的會計ヲ存置スルノ不可ナル

六、造幣局資金部、朝鮮醫院及濟生院資金部、各帝國大學資金部、官立大
學資金部、學校及圖書館資金部ルモ其ノ殘存期間中ハ陸軍省ノ一般會
（理由）以上資金部ハ將來各自獨立自營ノ爲メ設ケタル制度ナルモ是等
ハ或ハ其ノ必要モナク或ハ其ノ實現ヲ期スル事困難ナルモノナルヲ以
二即之ヲ廢止シ現在ノ資金ハ總テ之ヲ公債ノ償却ニ充當スヘシ單ニ寄

モニテ總主ノ與寡資金ハ總モ公貴ノ賞味ニ充當スヘシ單ニ審

ヘ如ヘ其ノ極要子モニ總ベ其ノ實惠ニ蒙スヘ事困難ナリチヘ以

(點由) 边土資金猶未殊來各自廳立自營財務ヘ端セラハ歸還十九五景善

一學資金猶ヘ學外支圖書館資金猶安會社ヘ新規スハ半總土人指揮齊善

一產營繕員資金猶ヘ障礙圖書館資金猶安會社ヘ齊主領資金猶ヘ各帝國大學資金猶ヘ官立大

シム總主ノ公費開舉ニ承當スヘシ

寡大ニ會指モハチ禁ニ總軍ニ題目存置スヘキ極要ナシ當然總主スヘ

(點由) 土此戰時ニ集主スハ妙入其火附ニ總入行ニ總軍ヘ經費ヘ貲ヘ別

五總軍營繕費請充資金四〇〇〇〇圓モ一號會指審入金イハモ財用ヘ

總安ニシモ存ニ臺帳總董ニ題リ文ミ存置スハシ極要モ見スイハテ本

(點由) 越戰林株モ外支スハ會指モハチ御財宜ヘ爲ニ端ヘシハ無リ對ヘ

二附等ニヨル特別資金ニシテ費途ノ限定期セラル、モノハ預金部ニ預入

三千シテ運用利殖シ各關係官衙ニ於テ元本ニ關スル明細書ヲ作成シ其ノ

四要資產ヲ明ニセハ可ナリ

七臨時軍事費四會計ハ義ニ作業的會計整理ノ項ニ於テ詳説シタル理由ニ

(理由) 歐洲戰亂ニ關聯シタル化本邦軍事費用ニシテ戰局終結後數年ヲ經

過シタル今日非常ノ場合ニ處スル變則的會計ヲ存置スルノ不可ナル

コトハ世間ノ普ク認ムル所ナリ殊ニ薩哈連太撤兵モ早晚實行セラル

ヘク縱令猶ホ暫時駐兵ストスルモ其ノ殘存期間中ハ陸軍省ノ一般會

計中ノ相當科目ニ於テ計上スレハ可ナリトス

五簡易第三保特別會計トシテ存續スヘキモノ

六印刷局易生命保險ハ官營ノ保險事業ニシテ是亦一般政務ノ外ニ特立

（昭和文庫）
第三 某幹部會信十七年春置スヘモテハ事固難セリトヘシ
（昭和中ノ時當桜月ニ氣々指土スノヘ可ナリ）
（學ヘ）諭令諭本音御遺兵スイベニ子其ノ述容限間中ハ對軍省ノ一過會
（音）イハ世間ノ書々駆ムハ西セリ總ニ薦御敷々燒兵モ早飼實行ナシハ
（聲）タハ今日非當ハ聯合ニ國スハ變限由會信モ容置スハノ不回十八
（點由）廻御海濱ニ關禪シタハ本代車事費用ニシテ廻御殊甚邊爭モ疊
士（聯御軍事費）
兵資產金ニナヘ四十七

二、專賣局
三、千住製絨所
四、製計鐵例所

(理由) 以上四會計ハ囊ニ作業的會計整理ノ項ニ於テ詳説シタル理由ニ

三、火災保険特別會計トシテ存續スルコト、スヘシ但シ資産状態及收支
計算ヲ公開スルコトヲ條件トスルコト亦既記ノ如シ而シテ官業整理
ノ進行ニヨリ全然民業ニ移サル、モノハ當然削除セラルヘク又一部
民業ニ移シ規模ヲ縮少シテ存續セラルヘキモノニ對シテハ其ノ結果
ヲ待チテ會計上ノ所屬ヲ再審スヘキモノトス亦之ニ適用スヘシ要ス
五、簡易生命保険 保険事業ヲ營ムコトニ因テ得タル成績ノ眞情ヲ明白ニシ

(理由) 簡易生命保険ハ官營ノ保険事業ニシテ是亦一般政務ノ外ニ特立

一、(題由) 間々生命保険へ官營へ承認事業ニシテ最初一社起業ノ代ニ耕立
年間々生命保険此會計トシテ存續スヘキ事務

支拂モテ會稽土ヲ祀靈モ再審スヘキナクイズ

又業ニ參シ處財ヲ詣少シモ春齋ナモルヘキチニ機シモベ其ヘ餘果
又並音三由リ全然又業ニ縣せハシチヘハ當然賄金ナミハヘ又三階
指算キ公關スルロト天祐書生スルニ不表臨頭而モテ官業鑿壓
(題由) 誰ヘ群祇會稽石モ春齋スルセイハスヘシ野々資童鬼顯父如支
(題由) 以土四會稽ヘ達ニ脊業即會稽靈駕ヘ貞ニ死テ精德シタハ題由ニ

四、(題由) 題由ニ

三、干卦蝶戀題由ニ
大衍之數三十有六
六十四卦之數三十有六
六爻之數二十有四
六四卦之數二十四
六爻之數十二
六四卦之數十二
六爻之數八
六四卦之數八
六爻之數六
六四卦之數六
六爻之數四
六四卦之數四
六爻之數二
六四卦之數二
六爻之數一
六四卦之數一

二、專賣局

スルモノナリ而シテ保險金ノ支拂金額ハ年ト共ニ膨脹シ且支拂金額
豫定シ難キヲ以テ豫算編成上ニ困難ヲ告クルノ事情アリ故ニ特別會
計ノ例ニヨリ收入保險料ヲ以テ保險金ノ支拂ニ充當スルヲ便トスヘ
シ又本事業ニ對シテハ民間保險ニ於ケル責任準備金ノ如ク適當ノ積
立金ヲ設定スルコト固ヨリ必要ニシテ其ノ以外純益ニ相當スヘキ性
餘金並ニ資金運用ニ因ル收益金ノ如キモ一般剩餘金ニ繰入ルヘキ性
質ノモノニアラス是等ノ理由ニヨリ特別會計トシテ存續セシムト
ス而シテ事業ニ關スル一切ノ經費モ其ノ財源ヲ以テ支辨セシメ且民
營保險業ト同業ノ賦課ヲ負擔セシムルコトモ亦之ニ適用スヘシ要ス
ルニ政府力保險事業ヲ營ムコトニ因テ得タル成績ノ眞情ヲ明白ニシ
ル爲ニ別途ノ計算ヲ要求スルモノニシテ從テ資產狀態及收支計算ヲ

(一) 民衆ニ賦税ヘ指揮ミ要求スベシモニシテ資産類又如支信莫ミ
兵備費ニ過半又若劍事業ニ營ムニイニ因テ専々ハ如蘇ヘ眞誠ミ即白ニ
營業企業イ同業ヘ頗難ニ貢獻ナシムベニイチ衣食ニ蔽用スヘモ要ス
ス而シテ事業ニ關スハ一回ヘ經費ヲ其ノ帳簿ヘ以テ支耗ナシム且矢
賛ヘシクニテニス是等ヘ堅由ニヨリ督限會信イシテ存續ナシムイ
給金並ニ資金數取ニ因ハ如益金ヘ吸キチ一過陳繪金ニ繫入ハヘチ當
立金モ姑室スルロイ固ニヒ及要ニシテ其ノ近代勝益ニ財當スヘテ陳
繪又本事業ニ薩ムヤベ少間不劍ニシカハ責玉華前金ヘ吸ヘ當當ヘ
此題指ヘ國ニヨリ外人對劍株モ以テ對劍金ヘ支財ニ正當スハモ動イスヘ
三千錢宝シ讓キモ以テ寢草講起土ニ困難モ告ヘハヘ事請テリ姑ニ督限會
ニ事スハチヘナリ而シテ對劍金ヘ支財金賄ハ平イ共ニ過疎シ且支財金賄
公開スヘキコト亦論ナキ折トス

第一、左ノ諸特別會議ヘ之ヲ取扱シテ其敷次々一概審酌シ於多額開保各款項
管トシテ之ヲ整理スヘシ
(一) 外務省所管トシテ整理スヘキモノ
一在外國專管居留地

本會計ハ單ニ帝國ノ領土外ニシテ遠隔ノ地ニアル居留地經營ノ收支
ヲ取扱フ爲メニ過キサルヲ以テ一般會計ニ併合シ收支ニ適當ノ款項
ヲ設ケテ整理スヘシ

一對支文化事業
清國團匪事件賠償金ノ收入ヲ基礎トシ之ヲ運用利殖シテ得タル收入
ノ幾分ヲ以テ對支文化ニ關スル施設ヲ行フモノニシテ基金ノ運用利
殖ハ預金部ニ於テ利殖セシメ收支ハ一般會計内ニ於テ預金部運用利
殖金ヲ收入トシ對支文化施設事業ヲ支出科目トシテ整理スヘシ
(二) 内務省所管トシテ整理スヘキモノ
一朝鮮總督府、臺灣總督府、關東廳、樺太廳、南洋廳等ノ各專管地等

（一）外國ニ貯金ヘ當真モ要求スルヲニシテ資本及處遇文書莫
管トシテ之ヲ整理スヘシ。又ノ大半而ノ支那、朝鮮、及、濟生院、官營事業
（一）外務省所管トシテ整理スヘキモノハモハナム。宜シク一般會計内ニ於
一在外國專管居留地四ニ過半の收支ノ款項ヲ整理計算シ資金部
本會計ハ單ニ帝國ノ領土外ニシテ遠隔ノ地ニアル居留地經營ノ收支
（三）大ヲ取扱フ爲メニ過キサルヲ以テ一般會計ニ併合シ收支ニ適當ノ款項
一ヲ設ケテ整理スヘシ。

一對支文化事業運営要務ハ、其一會計併ニ各特別會計ヨリ一旦本會計
清國團匪事件賠償金ノ收入ヲ基礎トシ之ヲ運用利殖シテ得タル收入
ノ幾分ヲ以テ對支文化ニ關スル施設ヲ行フモノニシテ基金ノ運用利
殖ハ預金部ニ於テ利殖セシメ收支ハ一般會計内ニ於テ預金部運用利
殖金ヲ收入トシ對支文化施設事業ヲ支出科目トシテ整理スヘシ。
(二) 内務省所管トシテ整理スヘキモノノ定及理轉資金等之計算整理上便宜ム
一朝鮮總督府、臺灣總督府、關東廳、樺太廳、南洋廳等ノ各殖民地特

一 聰輪盤會計。臺灣輪盤會計。關東廳。關太廳。南華廳。奉獻與地稅
(二) 内發省會計。大藏省會計。

貯金及收入イミテ歳賄スヘキニヘ
貯金及金庫ニ列テ財庫オシテ歳支ハ一歲會信内ニ於テ貯金溜帳用財
へ供給モ又モ陸支文部ニ關スル貯金及貯金貯用ニシテ基金ヘ賦用財
御圓閣則事半額貢金へ導入モ基掛イシテ又甲財庫モテ器々ハ導入

一 機支文出事業

ミ 貧モテ疊歎スヘシ

ミ 雖然モテ歳支ニ過キセハモ以テ一歲會信ニ合合モ歳支ニ應當ヘ總貢
本會信ハ單ニ御圓閣、陸支機モテ歲賄ヘ此ニテハ涅留並營ヘ歲支

一 番長幽裏會計留此

(一) 大發省會計。大藏省會計。

晉イミテ之モ疊歎スヘシ

萬ニ至ム御圓閣會信ハシミ國土モ其地支ハ一歲會信ニ列テ當御圓閣省會計

御圓閣會信ヘ疊歎

別會計ハ其性質一般會計ニ等シキモノニシテ單ニ收支ヲ生スヘキ地
力本土ニ遠隔ナリト謂フニ過キス故ニ一般會計ニ於テ右收支ノ款項ヲ

以テ整理シテ然ルヘキモノカリ而シテ朝鮮醫院及濟生院ハ官營事業
ノ計算整理上便宜ノ爲メ設ケタルモノナレハ宜シク一般會計内ニ於

テ經常臨時ノ兩部門ニ適當ノ收支ノ款項ヲ設ケテ整理計算シ資金部

ヲ廢止スヘンニ至ラヘ對外債權ノ收入ナキニ於テハ本會計ハ元利資金

(三) 大藏省所管トシテ整理スヘキモノカラサルカ如キ狀態ナルヲ以テ一般
一國債整理基金ルヲ適當トスハ取扱事項ノ上於テ本會計ハ元利資金
一國債ノ元利償還ヲ要スヘキ一般會計併ニ各特別會計ヨリ一旦本會計
ヘ受入レ本會計ノ計算ニ於テ仕拂フモノニシテ只借替ハ本會計而已
ニ於テ收支計算ヲ行フモノナルカ右ハ直接一般會計ニ於テ借替並ニ
元利償還ヲ行フ事トスヘシ以テ得タル資金ニヨリ各省ノ營繕等ノ特
一造幣局ニ充當スル等ノ爲メ便宜上設ケタルモノナルニ過キス。右二
元來材料素品ノ購入貯藏其他固定及運轉資金等ノ計算整理上便宜ノ
爲メ設ケタルモノニシテ右ハ大藏省所管トシ一般會計ニ併合シ造幣

右延長地税

爲ス體ヤモハヨニミテ古ハ大藏省運營イシ一處會信ニ結合シ茲留

元來株株素品ヘ觀入額雖其固宝又戰勝資金等ヘ指算整點土更宜ヘ

一 茲留員

元株賞靈ミ旨ニ事イスヘシ

ニ兎モ外支信算ミ旨ニ子ヘセハ亦ヘ直越一處會信ニ兎モ替替並ニ

ヘ受入ノ本會信ヘ指算ニ兎モ卦替ヘヨヘニシモ只替替ヘ本會信而曰

圓貢ヘ元株賞靈ミ要スヘキ一處會信并ニ各群眾會信ヨリ一旦本會信

一 圓貢整點基金

(三)

大藏省運營ヘモ整點スヘキチヘ一處會信ニ指合ニ外支ニ整當ノ本員
モ廻立スヘシ

一モ整當歸耕ヘ兩清門ニ整當ヘ外支ヘ總貢モ體ヤモ整點指算ミ資金附

ニモ信算整點土更宜ヘ體ヤモヘキチヘセハ宜シヘ一處會信内ニ兎

ヘ體ヤモ整點ヘテ然ハヘキチヘセリ面シモ體算整點又齊主制ヘ官營事業

者ヘモ本士ニ靈廟モイ體ヘニ體キス姑ニ一處會信ニ兎モ外支ヘ總貢モ

體算整點ヘ其消費一處會信ニ體キチヘニシモ單ニ外支モ指スヘキ此

(四)

局收支ニ對スル款項ヲ設ケテ計算整理スヘシ

一 臨時國庫證券收入金

爲替資金ノ調達其他ノ爲メ内債ヲ募集シ支那、露國、佛國等對外債

權ニ放資セルモノニシテ所謂運用會計ニ屬スルモノナルカ支那露國

等ノ債權ニ對スル收入ハ大正七八年以降杜絕シタルモノニシテ大正

十五年以後ニ至ラヘ對外債權ノ收入ナキニ於テハ本會計ハ元利資金

ナク一般會計ヨリ補給セサルヘカラサルカ如キ狀態ナルヲ以テ一般

會計ニ併合スルヲ適當トス拂下代及數收入トシ歲出ハ各事業費材料費

一賠償金、國有財產整理資金本金ハ大藏省證券ニヨリ固定資本金即機
右ハ何レモ一般會計トシテ計算整理スヘキモノナルカ賠償金ハ獨逸

ノ賠償問題ノ紛糾ヲ慮リタルト賠償品ノ保管販賣等ノ爲メ又國有財

產整理資金ハ官有物ヲ拂下以テ得タル資金ニヨリ各省ノ營繕等ノ特
定財源ニ充當スル等ノ爲メ便宜上設ケタルモノナルニ過キス。右二

特別會計ハ歲入ハ官有物拂下ニ併合シ歲出ハ各省ノ營繕費及賠償金
所定ノ支出科目ヲ以テ計算整理スヘシ

(五)

御宝へ支出科目モ以テ指算額既スヘシ

御賛會指ハ愈人ハ官省轉附下ニ合シ並出ハ各省へ營繕費又額賞金
一家相隔ニ成當スル卷ヘ賦又財宜土雖モ此ノ子ヘハニ歎キス。古ニ
通鑑既資金ハ官省轉附下ニ合テ皆久水資金ニヨリ各省へ營繕卷ヘ轉
へ額賞金額又御賛品入渠管賣卷ヘ賦又圓音額
本ヘ同ノ子一處會指セシモ指算額既资金スヘチテハハク支額賞金ハ圓音額
一部賞金ハ圓音額通鑑既资金一處會指セシモ指算額既资金スヘチテハハク支額賞金ハ圓音額

一會指ニ持合スハモ額當イズ

(三) 大正七年一處會指日見解餘款セシムヘ此モせハ次映手帳總大水モ以テ一處
十正爭忍送ニ至モハ櫻井貢點ヘ迎入セキニ付モハ本會指ハ元株資金
卷ヘ貢點ニ機スル事大五十八年以獨母歸セシムハニモ大五
點ニ貢資ナムヨリニシモ御賛既用會指ニ願スル者セハ水支那靈園
御賛資金ハ隨處其附ヘ賦又内賛モ募集モ支那靈園櫻井貢
一處御圓車藝卷迎人金一處御圓車藝卷迎人金一處御圓車藝卷迎人金
鳳鳴支ニ及ス水總取マ類モ類モ指算額既资金スヘシ是ニ御支ハ力頭モ
鳳鳴支ニ及ス水總取マ類モ類モ指算額既资金スヘシ是ニ御支ハ力頭モ

(四) 農商務省所管トシテ整理スヘキモノ

一印刷局千住製紙所、製鐵所、米穀需給調節專賣局

右各特別會計ハ造幣局等ノ如ク何レモ官營事業ノ計算整理ニ屬スル
モノニシテ材料購入貯藏製品其他ノ保管販賣等ノ取扱上並ニ固定及
運轉資本金等ノ計算整理等ニ於テ一般會計法規ニヨルヲ不便ナリト
スルノ理由ニヨリ各特別會計ヲ設定シタルモノナルカ現今一般會計
内ニ於ケル電信電話事業及陸軍糧抹、衛生材料、火藥等ノ官營事業
ニ於ケルカ如ク歲入ハ物品拂下代及雜收入トシ歲出ハ各事業費材料
素品ノ購入保管トシ運轉資本金ハ大藏省證券ニヨリ固定資本金即機
械器具等ハ備品トシテ整理スヘシ

(五) 遞信省所管トシテ整理スヘキモノ

一簡易生命保險

右ハ之ヲ一般會計ニ併合シ當該科目ヲ設ケ收支ヲ計算整理シ之カ運
用ハ預金部ニ於テ運用セシム

(六) 鐵道省所管トシテ整理スヘキモノ

一鐵道省所管トシテ整理スヘキモノ

(六)

鐵道省預算イシテ 鐵道スヘキヨ。

用ハ賃金精ニ供テ 賃用サシムニ 賃金一月支給

キハムニ 一體會計ニ特合シ 當局目録又鄭支モ 情報整理シムニ

一 船員生命券劍

(五)

鐵道省預算イシテ 鐵道スヘキヨ。

財器具等ハ 貨品イシテ 鐵道スヘシ。

一 貨品入料入料費イシテ 鐵道資本金ハ 大鐵道預金ニヨリ 固寶資本金賄付

ニ外モハ此取引處入ハ 貨品購不外又購入イシテ 由ハ 各事業費林株

スハハ取由ニヨリ 各部門會計又宝モハ此不動ナリ。又

鐵道資本金等ハ 借貸業又軍需料、清潔林株、火藥等ハ 官營事業

ニ外モハ此取引處入ハ 貨品其並ハ 借貸業又軍需料、火藥等ハ 官營事業

古谷部屋會計ハ 鐵道資本、借貸業又軍需料、火藥等ハ 官營事業

一 明確貢干掛賃殊預費鐵道米穀雷能關道專賣局

一 豊南鐵道預算イシテ 鐵道スヘキヨ。

(四)

一 帝國鐵道 政府理用利潤を有ル事トガ多カモ水道計入成人
一 帝國鐵道ハ既往ニ於テハ一般會計トシテ計算整理シタルモノナルカ
會テ鐵道收入激減シ鐵道建設改良事業ノ爲メ一般會計ニ累ヲ及ボス
第三左ニ至リタルヲ以テ明治四十一年度以降鐵道ヲ特別會計トシ全然獨立
一 自營セシタルモノニシテ今後殖民地會計ニ於ケル鐵道ノ收支ノ如
ク一般會計ニ於テ歲入ノ鐵道收入歲出科目ノ建設改良費運輸諸費等
ノ歲出科目ヲ以テ整理計算スヘシ

(七)

一 陸軍省所管トシテ整理スヘキモノ 諸々受タル機器之レカ計算整理上ノ

一 陸軍造兵廠

(八)

一 海軍省所管トシテ整理スヘキモノ

一 東京、京都、東北、九州、北海道官立ノ各大學校及圖書館

右ハ一般會計トシテ計算整理スヘキモノナルカ各學校ハ將來獨立自
營セシムルノ方針ニヨリ一會計年度ニ於ケル剩餘金ハ各會計ノ資金

(九)

會事シムハハ武極ニ日リ一會悟爭與ニ死テ水陸龜金ハ各會悟入資金
亦ハ一難會悟ナシテ悟寢鑑懸スヘキ子ハ大水火谷學郊ヘ裸來體立自
東京。京濱。東北。武掛。此新舊官立。各大學外。又圖書館。文庫。圖
書室。視書院。シテ建點スヘキ子。

文雅宣復晉之以爲里外之子也

新軍省視官以之為難堪，不許之。

(七) 軍督西蕃ニシテ藏疆又々本邦ノ

ア一通會信ニ致テ 越人ハ難堪シテ人處出林日入畢歸更費薪糉糉費卷
自營事シトムハモヘニテ今始厭其職會信ニ致テハ難堪人舛支人取
ヨ至リ及ハ天朝天限合四十一半期足剝難堪ミ耕眠會信イニ全然驅立
曾天船直連人遞遞シ難堪其處也更畢業ハ織ヒ一通會信ニ累々又亦不
一番圓難堪ハ獨書ニ致テハ一通會信イニ天信莫望既シ多ハモヘナカ

第三、左ノ特別會計ハ全然之ヲ廢止スヘシ

部會計ニ於テ運用利殖セシムル事トシタルモノニシテ本會計ノ歲入
ハ各學校收入及雜收入トシ歲出ニ於テモ各學校名ノ款項ヲ設ケテ之
ヲ計算整理スヘシ又特別ノ支障ヲ來ス學ナシ
左ノ特別會計ハ全然之ヲ廢止スヘシ

右ハ新規募賣ヲ行ヒ各所要會計へ移換スル手續上ノ會計ニ過キ
一大藏省預金利子一般會計借入金トシテ使用シ殘額三十五
右ハ一般會計ヨリ預金利子ヲ前渡ヲ受クル爲メ之レカ計算整理上ノ
名目上ノ會計ニ過キス日止ム一會計ニ過キサルヲ以テ之ヲ廢止シベ
一陸軍營繕費補充資金及諸官資金部、軍事院及衛生院資金部
土地建物
造物ヨリ生スル收へ
右ハ陸軍而已ニ存スルモノニシテ馬糞其外ヲ歲入トシ陸軍ノ經費ノ
爲メ保存スル會計ナリ各會計ノ積少ナル剩餘金ヲ以テ其實現タ期ス
一臺灣官設鐵道用品資金、鐵道材料ヲ收支スル會計モル特定資金而
右各會計ハ何レモ通り抜ケ勘定ニ過キシシテ單ニ手續上ノ計算整理ニ

爲メ保存スル會計ナリ。各會計ノ額少ナル剩餘金又以テ其實現ヲ期シ、
一臺灣官設鐵道用品資金、鐵道材料ヲ收支スル會計ナリ。ヨル特定資金而
右各會計ハ何レモ通り抜ケ勘定ニ過キスシテ單ニ手續上ノ計算整理ニ

各會指ハ同ノ子孫モ財モ國宝ニ歛キスシモ單ニ手賄土ヘ指揮營盤ニ

一臺幹官傭兵並用品資金ノ賄金株式支スル會指セ

一貯蓄ノ聚存スル會指セリ

一吉ヘ陸軍而曰ニ谷スルチニヨシモ調査其助モ進入イマ陸軍ヘ經費ヘ

一陸軍醫務費諒底資金

一各目土ヘ會指ニ歛キス

一大藏省賄金麻干ヘ會指ニ歛キス

一赤字ヘ一端會指ヨリ賄金麻干ヘ贈送モ受ベハ貯蓄ノシ指揮營盤ニ

一公賣金ノ賄金麻干ヘ會指ニ歛キス

一赤字ヘ一端會指ニ歛キス

一公賣金ノ賄金麻干ヘ會指ニ歛キス

一赤字ヘ一端會指ニ歛キス

一赤字ヘ一端會指ニ歛キス

一赤字ヘ一端會指ニ歛キス

一赤字ヘ一端會指ニ歛キス

一赤字ヘ一端會指ニ歛キス

第三章 教育基金

一清國償金ノ一部ヲ以テ災害準備、軍艦水雷補充、教育等所謂三基金

一制度ノ内唯一ノ基金トシテ殘存セルモノナルカ日露戰役ノ軍資金ト

一シテ一〇、五四〇、〇〇〇圓ヲ一般會計借入金トシテ使用シ殘額三十五

一万餘圓ニ對シ年々一萬五六千ノ利子收入アル而已ニシテ何等教育ニ

一用關スル施設ナク單ニ名目上ノ一會計ニ過キサルヲ以テ之ヲ廢止スヘン

一各帝國大學資金部、學校及圖書館資金部、朝鮮醫院及濟生院資金部

一右資金部ハ將來各自獨立自營ノ爲メ設ケタル制度ナルモ之等ハ畢竟

一ノ希望ニ過キシテ各會計ノ僅少ナル剩餘金ヲ以テ其實現ヲ期ス

一ルハ到底不可能ナルヘキヲ以テ之ヲ廢シ單ニ寄附ニヨル特定資金而

一已ハ之ヲ預金部ヘ預入シ運用利殖セシムク年度ヲ區分スル事能ハサ

一貨幣整理資金

一 貸借經理資金

日本ヘスミ賛金箱ヘ貯入シ戰田財庫シムニシム 案此ノ子孫主事者等
ハヘ社員不可謂ナムヘキモ此モ貯シ單ニ寄附ニヨリ本邦家資金而
一ヘ赤塗ニ戲キスモ各會指ヘ勤ムハ陳翁金モ此モ其實業ニ限ス
赤資金箱ヘ拂來各自獨立自營ヘ貯ス體アリ少拂更ナムヨリ華ヘ畢竟

一 谷帝國大學資金箱學外國書館資金箱厚報圖書館外觀主觀資金箱

關スハ貯施セシ單ニ谷日土ヘ一會指ニ戲キセキモ此モ貯出スヘ
萬箱圓ニ體シ爭メ一萬五六十ヘ時半期入て小面口ニテ所持卷達育ニ
一メテ一〇.五四〇.〇〇〇間モ一選會指替入金イシモ勅用之選滿三十五

時實ヘ内御一ヘ基金イシモ錢箱ナムヨリ大半次日鑄銀券ヘ軍資金イ

一赤圓資金ヘ一端モ過モ災害準備、軍艦水雷駆逐、遂育養院開三基金

一 運育基金

シテ本會指代選出スハチ存限ヘ支綱ミ來ス事セシ

財交盤重蘇ナムヨリ大半此姑ニ單ニ取退土財宣ヘ貯ス體ア及小チヘニ
圓スハチヘニモ長蘇ニテリモヘ一選會指並ニ存限會指ヘ列支ト悉ベ

造幣局ヲ一般會計ニ併合シ之レカ收支科目ヲ設ケテ計算整理スルト

セハ現行ノ如ク材料ノ品位ノ檢定貯藏並ニ之レカ買入資金等ノ爲メ

資金ヲ保有スル必要ナシ

第三、預金部特別會計ハ設置セサル事

預金部ノ收支及運用等ハ到底會計法規ニ準據シテ之ヲ行使スル事ヲ得

ス殊ニ一定ノ收支ヲ豫算シテ議會ノ協賛ヲ得ルカ如キハ實行上支障渺

ラサルヲ以テ之カ新設ハ見合スヘシ

單ニ運用方法トシテ現行ノ制度ヲ認メ此ノ制度組織ヲ改善シテ資金運

用上一部政商等ニ利用セラレ或ハ時ノ内閣ニ悪用セラル、等ノ弊害ヲ

ナカラシムヘシ

第四、臨時軍事費特別會計ハ之ヲ存置スヘシ

本特別會計ハ軍費ノ收支計算整理ノ爲メ機宜ノ便法トシテ設ケタルモ

ノニシテ既往ニ於テモ日清日露ノ戰役ノ際之レカ制定ヲ見タルモノナルカ軍費ノ收支計算及整理ハ一般政費ノ如ク年度ヲ區分スル事能ハサル而已ナラス之レカ收支ニ關シテハ軍機ニ關聯シ機宜ノ處置ヲ要スル

ハ而曰セマスアムニ財支ニ關シモハ軍費ニ關連シ雖宜ヘ國費ニ要スル
ハ軍費ヘ追支指揮又難職ヘ一述而費ヘ既々爭題ニ關合スル事説ハセ
ヘニテテ總括ニ就テニ日當日盡ヘ運送ヘ總合フニ時空ニ良也ハシヘト
本費限會指ハ軍費ヘ追支指揮難職ヘ雖ト雖宜ヘ動走オシヤ雖可也ハシ
義四副湖軍事費限會指ハムニ容置スヘシ

ナシモシムヘシ

田土一畠延面率ニ除田サモノ更ハ御内閣ニ惡田サモノ率ヘ禦害モ
單ニ無田式起イシモ農音ヘ農實ニ歸實ニ御善シテ資金貯
モセハ天道モ又テ又テ祿選ヘ農合スヘシ也即入金モ之を費用甲ニ近感三十石
又縣ニ一家ヘ追支ニ難職シテ雖會ヘ國費ニ時空ニ良也ハシヘテ資音土支御
貯金殆ヘ難支込延田卷ヘ時運會指起賦ニ率難シモハシ音助スハ事ニ時
卷三節金儲春限會指ヘ難置カセハ事ニ

資金ニ若吉ニ少心要大ニ成人支調來大利ナシ
ナヘ恩音人取ク林株人品登ヘ鑑宝領藏並ニハシ買人資金等ヘ貯メ
蓄積風モ一通會指ニ特合シハシナ財支林目ニ端ヤテ指揮難職スルト

事多ク到底一般會計法規ニ準據スル事ヲ得ザルヲ以テ當分存置セサ
ル可カラス

チ業出スルノ弊チ改メ貢出入共嚴重ニ考査シ實額ニ近キモノヲ計上

チ賃任支出ノ弊チ禁制スルコト

四國庫剩餘金ヘ總テ公債償却ニ充當スルコト

五行政各部ノ盈算剩餘ヲ國庫ニ返戻スベキ法規ヲ施行スルコト

六行政各部ノ經費款項目ヲ統一スルコト

七特別會計ヘ一般會計ニ統一スルノ方針ヲ樹立シ基金資金ノ如キヘシ
チ整理シ其性質上存置ノ必要ナキモノハ公債償却其他國民負擔軽減

ニ費スルコト

八現在預金部ノ管理ニ關スル資金及官營保險ニ關スル資金等ヲ總括シ

(甲) 財政組織ノ整理ニ屬スルモノ

一、豫算ノ編成ニ方リ歳出ヲ過大ニ歳入ヲ過少ニ見積リテ多額ノ剩餘金
ヲ案出スルノ弊ヲ改メ歳出入共嚴重ニ考查シ實額ニ近キモノヲ計上
シテ豫算ノ本質ニ立復ヘルコト

二、繼續的事業ノ支出ハ年度毎ニ豫算案ニ組入ルヘク後年度ニ亘ル事業
繼續案ヲ議會ニ提出シテ之カ財源ノ協贊ヲ求ムルノ弊風ヲ矯正スル
コト

三、責任支出ノ弊ヲ禁制スルコト

四、國庫剩餘金ハ總テ公債償却ニ充當スルコト

五、行政各部ノ豫算剩餘ヲ國庫ニ返戻スヘキ法規ヲ勵行スルコト

六、行政各部ノ經費款項目ヲ統一スルコト

七、特別會計ハ一般會計ニ統一スルノ方針ヲ樹立シ基金資金ノ如キハノ
ヲ整理シ其性質上存置ノ必要ナキモノハ公債償却其他國民負擔輕減
ニ資スルコト

八、現在預金部ノ管理ニ屬スル資金及官營保險ニ屬スル資金等ヲ總括シ

八、財政資金並々營繕ニ關スル資金又官營累積ニ關スル資金等を過渡ニ
ニ資スルモノ

ヤ建設之其消費土木署へ必要ナリテハ公費負味其餘國吳貢費等並
ナ御國會指ハ」議會指ニ據ニシテノ改憲ヲ講立テ基金資金ノ取手ハノ
六、旨知各項ヘ經費總額日々據」スルモノ

五、鉄道各項ヘ經費總額又國車ニ過失又ハ事故處モ總計スルモノ

四、國車陳金ハ總モ公費賛助ニ主當スルモノ

三、實支支出ヘ總モ總計スルモノ

四、

諸路客モ議會ニ提出シモ又モ被取モ總計又ハ業員モ總計又

二、諸施設事業ヘ支出ヘ平均額ニ經費索ニ歸入ルヘモ每年額ニ亘ル事業
モ總額ヘ本質ニ立寄ヘラロイ

一、來出スルヘ總モ而モ經出入共額重ニき查シ實體ニ准キテヘモ惜土
一、鐵道ヘ經費ニ就キ經出モ極大ニ進入モ鐵道ヘ是體リモ卷頭ヘ陳載如

（甲）標題略語ヘ總額ニ關スルモノ

之ヲ處理セシムルニ特別ノ機關ヲ設置スルコト

九、各省及主要官廳ニ大藏大臣直屬ノ會計監督官ヲ常置シ其官廳ノ經費ヲ

監督セシムルコト

（乙）政府事業ノ緊縮又ハ整理ノタメニ差當リ實行スヘキモノ

一、公債支辨事業ハ當分打切ルコト

二、鐵道新設工事ハ當分見合ハスコト

三、電話ノ私設經營ヲ許スコト

四、鹽專賣制度ヲ廢止スルコト

五、總金額ハ後附數照表財產目錄、裏直年開算ヲ為シ收支積益

計算ヲ公表スルモノ

六、總金額利益の總額又は後期保証又は

四 財政監視課を設立するに付いて

二 公債支拂金の支拂いに付いて

一 公債支拂金の支拂いに付いて

財蓄銀行設置

◇ 政府は行政・財政・管理の一端に於ては、公債整理局の方に趣して、
何れにしても此の預金は利息より安かつたのであるが、今日では最早その必要性
が失われたと云ふ事である。然しながら庶民の間で多くある、貯蓄銀行
は元々手に余つたと云ふ事であるが、此の利益と一括して、財政から
預金部改造成を行ふ事である。つまり本體引上げて改めて貯
速預金部改造成を行ふ事である。

◇ 預金部改造成を行ふ事は、はなはだ行政的問題であるが、大體の如きは、
預金部改造成の利益と一括して、財政から庶民の間で多くある、貯
速預金部改造成を行ふ事である。然しながら庶民の間で多くある、貯
速預金部改造成を行ふ事である。つまり本體引上げて改めて貯
速預金部改造成を行ふ事である。

◇ 尚易生命保険資金其他資金基全系統にて
預金部改造成を行ふ事は、はなはだ行政的問題であるが、大體の如きは、
預金部改造成の利益と一括して、財政から庶民の間で多くある、貯
速預金部改造成を行ふ事である。然しながら庶民の間で多くある、貯
速預金部改造成を行ふ事である。

（日揮水）
三、預金部資金運用法律による限定期定法 律案
この上六民済引仕命令スセト
中、資金八或二期方整理事ス
四、預金部監理官大藏省内設置スセト
五、預金部借對照表財産目録ラ表豆一年四決算ラ為に收支損益

大預金部利益總之積立又後期繰越セト
計算ラ公表ニシト

預金部改造案

速預金部改造成實行其骨子未體左如クスルフト

預金部、全然各省、獨立、三元特別機關、上之郵便貯金、郵便為替資金、簡易生命保險資金、其他資金基金系統、二當部、三寄託利殖、四三元二十

六預全部資金運用及其貸出利率^{ヲ定ム}為運用委員會置コト、委員會三分

二以上六民間事務局

三、預金部資本運用ハ法律ヲ以テ之ヲ限定ス但シ法律實施ニ際シ之ヲ觸スル運用

中資金ハ或時期ニ於テ整理スルコト

四、預金部監理官ヲ大藏省内ニ設置スルコト

五、預金部貸借對照表財產目録ヲ表直(年)四決算ヲ為シ收支損益

計算ノ公表スルニト

六預全部利益ハ總テ之ヲ積立テ又ハ後期ニ繰越スコト

預金部改造案

預金部改造案
速預金部改造ヲ實行シ其骨子ヲ大體左ノ如クスルコト
一預金部ハ全然各省ニ獨立ニタル特別機關トニ即使貯金、即使為替資金、
簡易生命保険資金其他資金基金ヲ統一ニ當部ニ寄託利廩セニシテ
二預金部資金運用及其貸出利率ヲ定ム為運用委員會置ケコト、委員會ノ委員

二、以上六民間資金の仕事スルコト
三、預金部資金運用ハ法律ヲ以テ之ヲ限定ス但シ法律實施ニ際シ之ヲ觸ス運用
中ノ資金ハ或時期ニ於テ整理スルコト

四、預金部監理官又藏省内ニ設置スルコト
五、預金部貸借對照表財產目録ヲ一表ニ亘
六、預金部利益ハ總テ之ヲ積立テ又ハ後期ニ繰越スルコト
計算ヲ公表スルコト

或時期近。二移好

官民各半教
官民共成程五
官ハ大内内様、子
孫ハ寺内守、孫
改ハ寺内守、孫
右制ハ寺内守、
孫也即ち有
紺葉源一

官業整理方案

政府、經營元制衣產事業ニテ軍事上機密其他特ニ官營
トスニキ必至ナキモノハ之ヲ整理スル方針ヲ以テ左ノ如ク實行ユルコト
ノ官民合同、會社ヲ新設シテ拂下ク(キモ)
製鐵所
印刷局
二民間、有力者ニ拂下ク(キモ)
牛住製絨所

在中國東省居留會計算事務處
地主居留地經營、收支取扱高過半以上一般會計併合
其後通商款項、就事理人
總理各款收入支取、並未達用利
總理各款收入支取、並未達用利
總理各款收入支取、並未達用利
總理各款收入支取、並未達用利

火薬製造、生糸、鐵器、機械、機器、機械等

官業整理方案

政府、經營之製衣產業、軍事上、機密其他特官營

上ニテ必要ナキモノハ之ヲ整理スルノ方針ヲ以テ左、如リ實行スルユト

一、官民合同、會社ヲ新設シ之ヲ拂下リ(キモ)

製鐵所

印刷局

二、民間、有力者ニ拂下リ(キモ)

牛仔製絨所

印紙、傳票等、印刷、監視
要元、官僚、官員、官經、官吏
支拂、日記、自書印刷

特別會計整理案

本會は曩々我財政組織整理方案、トニテ特別會計整理聲明
タルカ更ニ細目宣リ審議、未之カ具體案ヲ決定スルト左、如シ
第一、左、諸特別會計ハ之ヲ廢止シテ一般會計移し當該關係各省
所管トニテ之ヲ整理スルコト

(三) 外務省所管トニモ/

在外國專管居留地
對支文化事業

(理由) 在外國專管居留地、會計ハ單ニ帝國領土外ニテ遠隔
地ニ居留地經營、收支ヲ取扱フ為ニ過キサルヲスニ一般會計併合
シ收支ニ適當、一欵項ヲ設ケテ整理ス(ニ
對支文化事業ハ清國圍匪事件賠償金、收入ヲ基礎トニテ運用利
殖ニ得ル收入、幾分ラクテ對支文化開化施設ヲ行フモノニテ基金

運用利殖ハ預金部ニ委託シ一般會計内行テ運用利殖金ヲ收入
ニ對支文化施設事業ヲ支出科目トシテ何等ノ支障ヲ見ス

(三) 内務省所管トスモノ

朝鮮總督府、臺灣總督府、關東廳及南洋廳

(理由) 以上殖民地會計ハ其性質一般會計ニ等シキモノニレテ軍ニ收支ヲ
生スキ地カ本土遠隔セガ為ニ特別會計ト為セリニ過キ又朝鮮醫
院及濟生院官營事業、計算整理上便宜ト為ナ設ケルモノナリ
故ニ是等ハ總工般會計ニ於テ經常臨時両部門ニ適當、收支
款項ヲ設ケ整理計算ニ資金部ハ之廢止スヘシ

(三) 大藏省所管トスモノ

國債整理基金

造敵中局

臨時國庫證券收入金

賠償金、國有財產整理基金

(理由) 國債整理基金ハ國債元利償還ヲ要エキ資金ヲ一般會計並
ニ各特別會計ニ一旦収入、本會計、計算ニ於テ支拂フモノニシテ只借替
ハ本會計ニ於テ收支計算ニ行フモナルカ總テ之ヲ一般會計移し直
接ニ元利償還及ニ借替ニ行フユト、スヘシ

造幣局特別會計ハ元來材料素品購其他固定及運轉資金等、計算
整理上便宜ト為ニ設ケルモトモ一般會計併合シ造幣局收支ニ對充款
項ヲ設ケ計算整理スルニ於テ別段、故障ヲ見ス

臨時國庫證券收入金ハ為替資金、調達其他、為ソ内債ヲ募集ニ支
那露國佛國等對外債權放資セモノニシテ所謂運用會計ニ屬ズモトカ
支那露國等債權對充收入ハ大正七八年以降杜絕シタルモノニシテ大正十五
年以後至リ猶ホ對外債權、收入キニ於テハ本會計ハ元利資金ナク一般會
計ニ補給セハカラガ如キ狀態を以テ一般會計併合スルヲ適當トス

一、運用利殖ハ預金部ニ委託ニ一般會計内行テ運用利殖金ヲ收入
ニ對支文化施設事業ヲ支出科目トシテ何等ノ支障ヲ見ス

(三) 内務省所管トスモノ

朝鮮總督府、臺灣總督府、關東廳及南洋廳

(理由) 以上殖民地會計ハ其生貨一般會計ニ等キモニシテ軍ニ收支
生スキ地カ本志遠隔セカ為特別會計ト為セリ過キ又朝鮮醫
院及衛生院官營事業、計算整理上便宜、為ナ設ケタルモナリ
故ニ是等ハ總工般會計於經濟臨時兩部門ニ適當、收支
款項ヲ設ケ算整理計算ニ資金部ハ之廢止スヘシ

(三) 大藏省所管トスモノ

國債整理基金

造敵中局

臨時國庫證券收入金

賠償金、國有財產整理基金

(理由) 國債整理基金ハ國債元利償還ヲ要スキ資金ニ一般會計並
ニ各特別會計ヲ一旦受入、本會計、計算ニ於テ支拂フモニシテ只借替
ハ本會計ニ於テ收支計算を行フモナルカ總テ之ヲ一般會計移ニ直
接ニ元利償還及ニ借替ヲ行フコト、スヘシ

造幣局特別會計、元來材料費品購入他固定及運轉資金等、計算
整理上便宜、為ナ設ケルモナリ般會計併合ニ造幣局收支ニ對元款
項ヲ設ケ算整理スルニ於テ別段、故障ヲ見ス

臨時國庫證券收入金ハ為替資金、調達其他、為ナ内債ヲ募集ニ支
那露國佛國等對外債權ニ放資セルモニシテ所謂運用會計ニ屬元モナリ
支那露國等債權對元收入ハ大正七八年以降杜絕シ元モニシテ大正十五
年以後至り猶未對外債權、收入キニ於テ本會計ハ元利資金ナク一般會
計ヨリ補給セルカラガ如キ状態ナシニシテ一般會計併合スルヲ適當トス

賠償金及國有財產整理資金ハ何セ一般會計三屬スキモノ志モ賠償金ハ獨逸賠償問題、紛糾ト處リルト賠償品、保管販賣等、為ノ又國有財產整理資金ハ官有物拂下シテ得ル資金ヲテ各首三於元管轄等、特定財源充當スル等、為便宣上設ケルモノナリニ過キス右ハ共ニ一般會計移レ歳入ハ官有物拂下シ併合シ歳出ハ各首、官繕費及賠償金所定支出科目ヲ以テ計算整理スヘシ

(四) 農商務省所管トスルモノ

印 刷 局

千 住 制 衣 級 所

製 鐵 所

米 穀 需 要 調 節

車 賣 局

(理由) 次上、各會計ハ何セ造幣局ノ如ク官營事業、計算整理三屬入

本會計收穫目的也
ナホ大利有ヒテシテ何

ルモノニテ材料購入貯蔵製品其他、保管販賣等、取扱上並ニ固定及運轉資本金等、計算整理等、於一般會計法規ニ便ナリトスルノ理由、ヨリ各特別會計、設定ニルモノナリト雖モ既電信電話事業及陸軍糧秣衛生材料、火薬等、官營事業カ一般會計内ニ於テ曰滑整理セル、實例ニ微ルモ特別會計トテ存置スル必要ヲ認メス一般會計、ナニ歳入ハ物品拂下代及雜收入トレ歳出ハ各事業費材料奉品、購入保管トシ運轉資本金貯藏首證券ニヨリ固定資本金即ナ機械器皿等ハ備品トシテ整理スヘシ

前記諸會計、農商務省三管屬セシメタルハ事業ノ性質相近似セルヲ以テ之統一セシム為ナリ而テ農事業中官營トシテ繼續元ノ要ナク相當整理ニ要充エドリ之ニ對レバ別考究ニユト、シ本項ニ於テハ依然政府、手ニ在ルモイトシ其所管キ定メタリ

(五) 遺信省所管トスルモノ

簡 易 生 命 保 险

賠償金及國有財產整理資金ハ何セ一般會計三屬スキモノたモ賠償金ハ獨逸賠償問題、紛糾ト處リ且ト賠償品保管販賣等、為メ又國有財產整理資金ハ官指物拂下因テ得ル資金ヲハ各首三於元官繕等、特定財源充當スル等、爲X便宜上設ケタルモノニ過キス右ハ共ニ一般會計ニ移シ歳入ハ官有物拂下併合シ歳出ハ各首三官繕費及賠償金所定支出科目ヲ以テ計算整理スヘシ

(四) 農商務省所管官トスルモノ

印 刷 局

千 住 制 衣 絨 所

製 鐵 所

米 穀 需 要 調 節

車 賣 局

(理由) 次上、各會計ハ何セも造幣局ノ如ク官營事業、計算整理三属入

ルモノニテ材料購入貯蔵製品其他、保管販賣等、取扱上並ニ固定及運轉資本金等、計算整理等、於テ一般會計法規ニ見テ不便ナリトスルノ理由、ヨリ各特別會計、設定ニルモノナリト雖モ既電信電話事業及陸軍糧秣衛生材料大藥等、官營事業ク一般會計内ニ於テ曰謂整理セル、實例ニ徵ニモ特別會計トニ存置スル必要ナリ認メス一般會計ノ下ニ歳入ハ物品拂下代及雜收入トニ歳出ハ各事業費材料奉品、購入保管トニ運轉資本金大藏首證券ニヨリ固定資本金即ナ機械器具等ハ備品トニテ整理スヘシ

前記諸會計農商務省三管屬セシメタルハ事業、性質相近似セルヲテ之統セニケハナリ而ニ是事業中官管トニテ繼續元ノ要ナク相當整理ニ要充スアリ之ニ對レハ別ニ考究ニユト、シ本項ニ於テハ依然政府ノ手ニ在ルモトニ其所管キ定メタリ

(五) 遅信省所管官トスルモノ

簡 易 生 命 保 险

(理由) 一般會計併合し當該科目ヲ設收支ヲ計算整理し其ノ資金八
預金部於テ運用セシメ郵便貯金ト統一ヲ保タシメムトス

(六) 鐵道省所管トモノ

(理由) 帝國鐵道既往於一般會計屬之而モ實質テ鐵道收入敷
減シ鐵道建設改良事業ノ為メ一般會計累ヲ及オスニ至リルヲ以テ明治
四十年度以降鐵道ヲ特別會計トシ全然獨立自營セシメタリ然レトキ實
際ニカニ收支明確ヲ缺キテ當局者専断ヲ促カシ又一般財政ト連絡調
節田賦ナガル等、情弊續出しテ特別會計整理ノ聲ハ帝國鐵道對
シ特ニ高唱セラシ、アリ今後殖民地會計於ケル鐵道收支ノ如ク一般會計ニ
於テ歲入鐵道收入、歲出建設改良費運輸諸費等、科目ヲ以テ整理

(七) 陸軍省所管トスルモノ

陸軍造兵廠

(理由) 造兵廠は舊に東京及大阪ノ砲兵工廠ヲ合併シテ從來兩工廠ノ豫算が毎年必ず各壹千円ノ歳入超過ナルクロキ杜漏ナル計算ヨリテタルハ特別會計トニ利益ヲ隠匿スルノ痕アリト称セズ、所以ナリ最整修理
必要アルキ認ム

(八) 海軍省所管十充毛ノ

海軍工廠、海軍大藥廠、海軍燃料廠

(理由) 陸軍三款先造兵廠ト同ラ一般會計移スニト否リキ理由ヲ見ス

東京、京都、東北、九州、北海道

東京、京都、東北、九州、北海道ニ於ケル官立、各大學及圖書館
以前之設置計三萬卷ノモ各學校ハ將來獨立自管セムルノ方針

(理由) 以前ハ一般會計ニ屬スル各學校ノ帳本獨立自營セリノ方第
開列集金簿用リ直セシル爲、特別會計ヲ設ケリト補セリ、然レトモ實

其會計之發行
際、他事情、發生ニタルモノニシテ、今日ニ於テハ、其必要ヲ認ムス。一般會計

十ニ歳入ヲ各學校收入及雜收入トシ歳出ニ於テモ各學校名、款項ヲ設ケ
テ之ヲ整理スヘシ

第二、左記、特別會計ハ全然之ヲ廢止スルユト

(二) 公債金

(理由) 有新規募集ヲ行ヒ各所要會計入移換元手續上、計算整理、為
スル會計過キヌリ所謂通リ核ケ勘定ナリ現在ニアリテハ一般會計並ニ特別
會計、收支、悉ク相交錯複セモノルカ故ニ單ニ取扱上便宜、為シ設ケタ
ルモノニシテ本會計カ廢止スルモ格別、支障ニ至スルナニ次ノ二項乃至四項亦何エ
整理、為シ通リ抜ケ勘定ナラズテ本項ト同一理由、下ニ同、處置、為スヘシ

(三) 大藏省預金利子

(理由) 本費ハ預金部開聯スルモニシテ御使賄金ニ對し利子ヲ計算充場
合ニ般會計ヨリ其前渡受ケ後日運用收入ラズテ其金額、償還ス即^シ通
レ拔ケ勘定過キヌ後節記載如ク預金部獨立セシム收支科目ヲ設ケ整

理スル以上六本項ハ専然廢止スル得ヘシ

(三) 陸軍營繕費補充資金

(理由) 陸軍令ニ序スルモニシテ土地建造物等生元收入其他ヲ歲入ニ陸軍、經
費、為保存元會計ナモ特存置、要ヲ見ス

(四) 臺湾官設鐵道用品資金

(理由) 鐵道材料、收支を會計ナモ前同断整理セラルヘキモノナリ

(五) 教育基金

(理由) 清國償金一部及災害準備、軍艦水雷補充、教育等所謂
三基金融度、内唯一基金トシ殘存セルモノル日露戰役、軍資金トシ
一〇、五四〇、〇〇〇円ヲ一般會計借入金トシ使用し残額三十五萬餘圓ニ對年
々一万五六千四、利子收入アルノミニシテ何等教育ニ關ニ施設ナク單ニ名目上
(會計過キサルヲ宣シテ之ヲ廢止スヘシ

(六) 各帝國大學資金部、學校及圖書館資金部、朝鮮醫院及海

下ニ歳入ヲ各學校收入及雜收入トシ歳出ニ於テモ各學校名、款項ヲ設ケ
テ之ヲ整理スヘシ

第二、左記特別會計ハ全然之ヲ廢止スルニト

(一) 公債金

(理由) 本新規募集ヲ行ヒ各所要會計へ移換スル手續上、計算整理、為
スル會計遍キスニテ所謂通リ核ケ勘定ナリ現在アリテハ一般會計並特別
會計、收支ト悉く相交錯重複セルモノルカ故ニ單ニ取扱上便宜、為シ設ケタ
ルセシテ本會計カ廢止スルモ格別、支障無コトナシ次ノ二項乃至四項亦何モ
整理為スル通り抜ケ勘定ナリテ本項ト同一理由、下ニ同、處置ヲ為スヘシ

(二) 大藏省預金利子

(理由) 本費ハ預金部開聯スルモノニテ郵便貯金ニ對利子ヲ計算シ堪
合一般會計ヨリ其前渡更後日運用收入ヲ以テ其、全額ヲ償還ス即^ハ通
リ抜ケ勘定遍キス後節ニ記スカ如ク預金部獨立セシム收支科目ヲ設ケ整

(三) 陸軍營繕費補充資金

(理由) 陸軍之存モニテ土地建造物等生元收入其他ヲ歳入シ陸軍、經
費、為シ保存元會計ナモ特存置、要ヲ見ス

(四) 臺灣官設鐵道用品資金

(理由) 鐵道材料、收支元會計ナモ前同断整理セラルキモノナリ

(五) 教育基金

(理由) 清國債金一部又災害準備、軍艦水雷補充、教育等所謂
三基金制度、内唯一基金トシ残存セモキル日露戰役、軍資金トシテ
一〇、五四〇、〇〇〇円ヲ一般會計借入金トシテ使用し殘額三五萬餘圓ニ對、年
々万五六千四、利子收入アルニミシテ何等教育ニ關する施設ナク單ニ名目上
(會計遍キサルヲテ宣シテ之ヲ廢止スヘシ

(六) 各帝國大學資金部、學校及圖書館資金部、朝鮮醫院及清

生院資金部

(理由) 右資金部、将来各自獨立自營、為之設ケタル制度も是等ハノ希望處
キスニテ、各會計、僅少ル剰餘金を以て其の實現ヲ期スルカロキハ到底不可能ナルヘレ
故ニ、廢止ニ軍需附、特別資金ノニヨ、預金部預入シ運用利殖セドムナリ。

(七) 貨幣整理資金

(理由) 造幣局一般會計併合シ之ヲ收支科目ヲ設ケテ計算整理ス。以上現
行ガ材料、島嶼、海陸貯藏並ニ賣入資金等、為ノ資金保有ル必要免ス。

(八) 臨時軍事費

(理由) 歐洲戰乱ニ開聯シテ本邦軍事費用ニテ、戰局終結後數年ヲ経過
久、今日收支、不明確な會計ヲ存置ス。必要ナキトハ世間ノ普ク認免所ナリ。殊ニ
薩哈連ノ撤兵モ早晚實行セラリケ、縱令猶其暫時駐兵ストスルモ其殘存
期間中ハ、陸軍者一般會計中ノ相當科目於テ計上ス。ハ可ナリ。

第三、特別會計トニ設置充モノ左ノ如シ

預金部但シ組織ヲ改造シ獨立シタル一部トレ收支科目ヲ設ケルコト

預金部改造ニ關ニハ別ニ之ヲ提案ス

(理由) 多數、特別會計ヲ整理シ或ニ一般會計移或ニ全廢セントルニ當
リ、獨リ大藏省預金利子、廢止代ヘテ預金部特別會計ヲ新設セントルハ他
ナシ、預金部資金、全他性質異ニ民衆勤儉結合タル郵便貯金ヲ以テ其
、要ナルモトスカ故ニ其收支明確ニ其運用、堅實ニ一旦公衆便益ニ享
ル、要アリ、預金部改造ハ本會計裏ニ之鳴道、現政府モ其意アリカロシ改造
程度六異同リ、(キモ前記)根本的精神ニ背戾ル現情ヲ矯正スル為ハ其制度
組織、華正ニ獨立ニ一部課トニ他會計ニ超越シ、宛然政府、管理一種ノ銀
行、如クシ其收支損益並財產狀態、明白ニシテ民衆、安分貢公せん(カラス)是
唯一特別會計トニ新設セントル所ニテ運用ニ因ル利息ヲ收入科目トニ計算整理セドム若レ
利息各資金ニ交付ス、運用利益及事務費ヲ支出科目トニ計算整理セドム若レ
支レ預金部改造ニ關ニハ別ニ成案、莫ニテ世ニ問ハントス

(終)

生院資金部

(理由) 右資金部將來各自獨立自營、為ノ設ケル制度モ是等ハノ希望遠キスニテ各會計僅少ル剩餘金以テ其ノ實現期元カロハ到底不可能ナルレ故ニ之廢止軍寄附ミテ特別資金ニシテ預金部預入し運用利殖セシルヲ可ト入

(七) 貸幣整理資金

(理由) 造幣局ノ般會計併合シ之ヲ收支科目ヲ設ケテ計算整理元以上現行如材料、岳、換定貯藏等之賣入資金等、為ノ資金保有元必要免ズ

(八) 臨時軍事費

(理由) 歐洲戰亂ノ際聯邦本邦軍事費用ニテ戰局終結後數年を経過凡今收支不明確な會計存置元ノ必要ナキニハ世間ノ普ク認ム所ナリ殊ニ薩哈連ノ撤兵モ早晚實行セラルヘ緋令獨士暫時駐兵エヌルモ其殘存期間中ハ陸軍者ノ般會計中ノ相當科目於テ計上スルハ可ナリ

第三、特別會計トニテ設置元モノ左ノ如シ

預金部但シ組織改造シ獨立シタル一部トニテ收支科目ヲ設ケルト
預金部改造開示ハ別ニシテ提案案ス

(理由) 多數、特別會計ヲ整理シ或之ヲ般會計移或之ヲ全廢セシムニ富

ノ獨リ大藏省預金利子、廢止代ヘノ預金部特別會計ヲ新設セシムハ他ナシ預金部資金、他ノ性質異ニシム衆勤儉結晶ノ如即便貯金ヲニ其盡モトスルカ破其收支ヲ明確ニシ其運用ヲ堅實ニシ且公衆便益ニ享スルニ要アリ預金部改造、本會計裏ニシテ唱道ニ現政府モ亦其意不カロシ改造程度六異同也キモ前記根本的精神ニ背戾先現情ヲ矯正ニ為ハ其制度組織ヲ革正ニ獨立シタル部課トニ他會計超越ニ宛然政府管理ニ種銀行、如クシ其收支損益並財產状態ヲ明白ニシテ民衆、安寧賣分ル(カラス是唯一特別會計トニ新設セシム所ニシテ運用ニ因利憲ヲ收入科目トニ支拂預金利息各資金ヘ交付スニ運用利益及事務費ヲ支出科目トニ計算整理セシム若シ支拂預金部改造開示ハ別ニ提案モ莫ニテ世間ハシス

(終)

(第)

本會ハ第二回報告ニ於テ財政組織及政府事業整理方安ヲ提起
シ其中一要項トニテ預金部ニ付之資金及官營保険、資金等ヲ
總括シ之ヲ處理ニ有特別機関ヲ設シキコトヲ唱道シテ預
金改造(日速)ニ實行ス、又要ヲ認ム之ヲ具體方案ニ開シ講究
シ進メ其大綱トニテ左ノ如ク決議ス

- 一、預金部ハ大藏省所屬、特別機關トシ御使賄金、御
便為替貸資金簡易生命保險資金、其他類似、政
府受託金ヲ統一シテ富部ニ保管利殖セシムコト
二、預金部ニ付之資金、運用方法及運用利率ヲ決定ス、
ニ運用委員ヲ置コト
運用委員數十名以内トシ其三分之二以上ヲ民間委員命
大藏大臣ヲ運用委員長トシコト

三、預金部開元特別法律ヲ新制シ確實ニ生ム且公益昌的
其他預資金等之運用上、定期、貸借對照表、損益計算書及
資金運用上、定期、貸借對照表、損益計算書及
運用資金內容明細書、定期平衡表並、軍需監理開
之事項等ヲ規定シト

本法律、實施ニ際シテ抵觸ニ運用中、資金ハ或時期マテ
ニ之ヲ整理スニコト

(理由) 預金部改造、急務ハ世間識者、高唱ニ
テス今ヤ政府當局、於テモ之ノ必要ヲ知覺シ審議中ニ屬スト
聞ケリ、本會講究、結果ト對比シテ幾何、合致ヲ見ルヘキカラロ、
ト雖モ全然獨立、立脚地在テ何等囚凡、所ナキ意見ヲ披瀝
ニ得ル、本會日、成案ハ必ニヤ他山ノ石をヘキヲ信ス以下改造案各
項ニ就キ其ノ理由ヲ略説セムトス

(二)組織、革新

改造、第一要點ハ組織、革新ニ在リ、元來預金部ハ政府、經濟官民銀行
行業とも目スヘキモノナシテ他、庶政ノ外、特立ニ明ニ區劃セラル、ヲ可
トス、從來預金部、事務ハ大藏省内一局、副業ナカニ觀テ、
運用内容、實質相ヘ愚カ收支、豫算ヲ公表セラレサルハ弊害醸
成、根源乞テ之ヲ一個獨享、機關トニテ事業、眞情ヲ明白
ニ専任者、任命ヨリ事務ヲ重視セシメ責任ヲ明セリト欲ス、本會
署裏ニ特別會計、整理ヲ要望セシカ、預金部、收支ハ上記ノ如キ事
業、性質上寧口特別會計トニテ取扱フヲ適當トスヘシ其名稱
ヲ預金部トニ存續元カ局又ハ課トスルカ、如キ、固ヨリ末節ヨ過キス
次ニ現在預金部、資金ハ、郵便及為替貯金ヲハ主體トシニ教
育其他、特別會計資金等ヲ綜合シテ本業ニ於テハ、郵便及為替
貯金等以外ニ簡易生命保險ニ属ル資金及供託金等を悉ク
納羅シ寄託利殖セシメムトス是シ類似ノ資金ヲ統一シテ運用上、効

黒ラ大ナラシメ兼テ事務ノ簡捷、経費ノ節約ヲ謀ムカ為ナリ

(三) 資金運用委員ノ仕合

預金部現情ニ對ニ改造、急務ラ呼號ニ所以ノモノハ主トニテ資金運用ノ宣ニキヲ得サルニ在リ蓋し資金ノ大部分ハ郵便及為替貯金ニ属レ國民評議ノ結果ナチニテ又ノ運用ハ特ニ確實ヲ旨トシ且公益ヲ増進スヘキ方面ニ於下セラシ其ヘカラス然ルニ現制ニテハ其運用ヲ大藏大臣ノ自由裁量ニ任シ少數席僚ノ手固テ安排セラル、カ故ニ表面ハ國債證券、銀行債券等ヲ所有シ或ハ預金ノ形式トシテ體裁ヲ繕フト雖モ其最終放出任ラ弗裡々ニ發露スホニ算益ニ關係ナキ奇怪ナル方面ニ流用セラル、金額并多大たコトハ掩フヘカラサル、事實ナリ今ヤ郵便及為替貯金ノモ寘實ニ十億圓ヲ超過セリ此巨大ナル資金ノ運用権限ニ現情ナニ放任ナハ盛ロニテ着過ニ及衆ニ於モ其ノ責免カレヌト移スヘシ故ニ本案ニ於テ此積弊ヲ矯正スニ有ニ資金運用ナシト想フヘキ

委員ヲ常置セリトス該委員會ハ運用及利率ニ關ス決定権ヲ附典スルモノニテ彼ノ單純化諮詢機関トカ如キ不徹底、改造ハ盛ロニ為サル、勝レニ如クス而レテ從來政府ノ委員ヲ任命ミヤ概不其貢數多き過クルヲ當申シ各自々家、利害ヲ顧慮スニ為ニ主張區々岐レテ却テ進行方妨ケ且多數ナルカ為ニ自然責任ク令散セズ、ノ諱風ラ生ス是し本來カ委員ヲ十名以内ニ制限シ其人選ニ重キヲ置ケドト元所收ナリ又委員一配分力官吏ニ偏重スニ當局ノ意志ニ追従スニ傾向ラ未スト宦官保險資金ニ對ニ運用委員會ノ實例ニ徴スモ明ニシテ預金部資金ノ如キ其性質ヲ見毛民衆ノ意志ヲ尊重スヘキモノルカ故ニ委員多數ヲ民間ヨ選任シ唯主管者タル職責上大藏大臣ヨシテ其委員長充ハコト最モ適當ナルヲ認ム

(三) 法規ノ制定

既委員ヲ精選ニ是等委員カ誠意ヲ以テ從事ス以上法規ヲ設シ

資金、運用ヲ限定シハ、唯蛇足リ満足、嫌冗ニナラス委員會ノ自由權限ヲ拘束スルクレント雖モ、資金ノ運用力餘り放漫、流し亂過あり、實情ニ鑑ニ屬く安ヘラ置つ為ニ其ノ運用ヲ確實ニシム益ラ主眼トスヘキ大方針、下ニ參サ、制限ヲ定メ其範圍内ニ於テ委員會、伎倆ニ信賴アリトハ時弊匡救上當ラ得矣モノトテ感ス、而シテ法規實施ニ方リ現ニ運用申資金ニテ之抵觸无モ、ナ面収益ハ多ナ、困難ヲ伴フヘシト雖エ軍備未ニ効果ヲ有セシメ常道、外ニ奔逐レバ、凡巨額、資金ヲ看過元加半段造ノ精神達ニテ一定、時期ヲ劃シテ必ス之整理セシムニト、亦已ナ得サルナリ又本資金ノ運用利殖ハ前記、如ク宛然官營、銀行業者ト視做スヘキモノナリテ其財產状態ヲ明ニテ為ニ貸借對照表ヲ調製シ毎年度於テ收支ヲ示ス為ニ摘要計算書ヲ作成シテ定期ニ登表スヘキハ勿論、遊テ運用資金、内容明細書ヲ公示シニトヘ重要大資金ヲ寄託シテ、民衆ニ對ル富庶、義務シレテ法律ヲ以テ之ヲ指

定五ニト何等、異論十九ヘシ且又預金部ノ監督レ善ク法規ノ命否所遵守セルヤ否ヤ、資金ノ正當ニ運用セシツ、凡ヤ否ヤ、審檢院ハ、會計検査院ノ職務ナリト雖モ、過去ニ於テ監督上、實情、遺憾ナキ能シ、預金部組織ノ變更、見合シ方テ監督、地盤在モ、亦多少緊張ヲテスヘキヲ信スト雖モ、更ニ段ノ嚴正ヲ期ス、為ニ監理ニ開充條文ヲ挿入エテ彈チ無用、業ヘテミサルヘシ

最近ニ政府當局ハ、綱紀、半期正立擇擇シ財政行政、整理足畫シ更ニ達テ財界ノ掌宿ヲ要望シ、一般民心、兵士、歸僑、儒商、アルイ時、當リ世間批難、焦點トナル預金部ノ如キハ、第着ニ革新ヲ要エコト多々言テ、諸々本會ハ私署ナ提出シト同時、改造成員現カ一日モ早カラムコトヲ期待シテ已

六月五日

（四月）銀行の預金は、支那銀行の預金と並んで、最も多くある。支那銀行の預金は、支那銀行の預金と並んで、最も多くある。支那銀行の預金は、支那銀行の預金と並んで、最も多くある。

（四月）銀行の預金は、支那銀行の預金と並んで、最も多くある。

二一（理由）（中）左（事項）加

殊に預金部、運用中で直接預金部より融通スルモノ及日本銀行指定預金トシテ融通スルモノアリ之等ヲ統一スル事モ必要ナルヘン又往來各會計間ニ於ケル国庫部内各種貸金及国庫餘裕貸ノ如キハ今後預金部ヨリ融通スル事ニ改定スルノ必要セアルヘン

大日本國政府預金部改組案
元來預金部回舊之國庫係之監督預金部國庫總務會
改組法實行ノニハ總務會ハシテ一括ノリ改組法ナリ
改組要領ハ、他モ改組法ニ直隸變換ハシテ一括ノリ改組法ナリ、又日本服

預金部改造案

(大正十三年十月)
經濟研究會

本會ハ第二回報告ニ於テ財政組織及政府事業整理方案
ヲ提起シ其中一要項トニテ現在預金部一屬スル資金其
他政府ノ管掌スル資金ヲ總括シ之ヲ處理スル爲ニ特別機
関ヲ設ケキコトヲ唱道シタルカ預金部改造ハ一日モ速ニ實行
スルノ必要ヲ認メタ具體案ニ關ニ講究九ヨ遂ケ左ノ如ク決
議ス

一 預金部ハ法規ヲ以テ大藏省所屬、特別機関トシ之ヲ機能
及監督ヲ明確ニシテ便貯金其他類似、政府受託金
及資金統一ニ是等資金、保管及利殖ニ關ニ一功責
務ヲ盡サムルコト

(理由) 改造第一要點、組織ヲ革新ニ在リ元來預金部ハ

政府、經營る銀行も目スヘキモノナルヲ以テ一般政務、外
ニ特立シ明ニ區劃セサルヘカラス、然ニ從來預金部事務
ハ實際上大藏省一局内、副業ナルカ如キ觀ヨ有ニ資金
、運用ニ殆ト何等、制限監督ナク之ヲ運用ニ關スル内容
、明細ヲ公表セサルハ弊害醸生、根源タリ是ヲ以テ法規
、下三個、獨立、機関トシ專任當務者ヲ置キテ其ノ
事務ヲ重要視セシメ次項以下ニ述フル如ク資金、運用、計
算、監理ニ關スル法規ヲ設ナ當局者、責任ヲ明ニセムト欲ス
次現在預金部、資金ハ郵便貯金ヲ主體トシ之ニ簡易生
命保險ニ屬スル資金其ノ他、特別會計資金等ヲ綜合セ
リト雖モ其ノ中簡易生命保險積立金、如キハ別ニ運用方
法ヲ定メ預金部ハ時之ヲ保管スルニ止マリ本案ハ總テ之
ヲ當部、管掌ノ下ニ置キテ運用上ノ統一ヲ謀リ兼テ
ヲ支辨スヘシ

二、預金部ニ属スル資金、運用方法及運用利率ヲ決定スル為運

用委員ヲ置クコト

運用委員、數八十名以内トシ其三分之二以上ヲ民間ヨリ任命スルコト

大藏大臣ヲ運用委員長トスルコト

(理由) 預金部、現情ニ對ニ改造、急務ヲ高唱スル所以、モノハ主トシテ

資金運用ヲ宜シキヲ得サルニ在リ蓋ニ資金、大部分ハ郵便貯
金屬シ國民勤勞、結晶タルヲ以テ之ヲ運用ハ特ニ確實ヨ旨
シ且公益、増進ニ資セサルヘカラス然ルニ現在ニ於テハ之ヲ運用ラ大藏
大臣、自由裁量ニ仕ニ事實上少數吏員、手ニ因テ安排考

ル、カ故ニ表面國債證券銀行債券等ヲ所有シ又ハ預金形式
トシテ體裁ヲ成スト雖モ其ノ最終、放出先ヲ審檢シハ何等公
益ニ關係ナキ事業及不穩當ナル方面ニ流用セラルモノ多キハ掩
フヘカラナルノ事實ナリ今ヤ卽便貯金ノミニテモ實ニ拾億圓ヲ超
過セリ此如キ巨大ナル資金運用ノ權限ヲ現情、下ニ放任スルハ
之ヲ看過セル民衆ニ於テモ亦其ノ責ナシト謂フヘカラス故ニ本安ホニ
於テハ此ノ積弊矯正スル為法規ヲ定ノ資金運用委員會ヲ常置
セムトス該委員會ハ運用及利率ニ關心決定權ヲ附與セムトス
ルモノニシテ單純ナル諮詢機關、如キ不徹底ナル組織、謂ニアラス
而ニテ從來政府、委員ヲ任命スルヤ概々其ノ員數多キニ過ケルヲ
常トシ各自々家、利害ヲ顧慮シテ主張區々岐レ爲ニ事ノ進行
ヲ妨クルノミナラス自然其ノ責任散漫疏ル、弊風ヲ生ス是レ本案
カ委員ヲ十名以内ニ制限シ其ノ人選ニ重キヲ置カムトアル所以ナリ又

委員ノ配分カ官吏ニ偏重スルトキハ當局、意志ニ追従スルノ傾向
アルコト簡易保險資金ニ關ニル運用委員會、實例ニ徵スルモノ明ナ
リ預金部資金ノ性質ヨリ見ルモ其ノ運用ハ民衆、意志ヲ尊重
スヘキモノナルカ故ニ委員ノ多數ヲ民間ヨリ選任シ唯職責上大藏大臣
ヨ以テ其ノ委員長ニ充ツルコト最モ適當ナリト認ム

三、資金運用上、限定期、貸借對照表、損益計算書及運用資金內容
明細書、定期公表並葉務監督ニ關ニル規定ヲ設ケルコト
本規定ノ實施ニ際シ之抵觸凡運用中、資金ハ或時期マテニ之整
理スルコト

(理由)既ニ委員ヲ精選ニ是等委員カ誠意ヲ以テ從事スル以上法
規ニ因テ資金ノ運用ヲ限定期ハ或ハ蛇足ヲ添フル嫌アリ且委員
ノ自由權限ヲ拘束スルカ如ニト雖モ資金ノ運用カ餘リニ放漫疏
シタル過去、實情ニ鑑ミ特ニ其ノ運用ヲ確實ニ且公益ヲ主眼

トスヘキ大方針、下三定、制限ヲ定メ其ノ範圍内ニ於テ委員会裁
断ニ任スルハ時弊匡救上當ヲ得タルモノナリト信ス而テ法規、實施
當面現ニ運用中、資金ニシテ之ニ抵觸スルモナリ回収スルハ多少、困難
ヲ伴フヘシト雖モ既ニ帝道ノ外奔逸セル巨額、資金ハ宜シク一定
、時期ヲ劃シテ之ヲ整理スヘシ又本資金、運用利殖、前記ノ如ク
宛然官營、銀行業務ト看做スヘキモノナルツ以テ其ノ資產、狀態、
明ニルカ爲、貸借對照表ヲ調製シ又毎年定期、其ノ收支ヲ示ス
ヘキ損益計算書ヲ作成シテ之ヲ發表スルノミナラス進テ運用資金内
容ヲ明細公示スルコトハ重要ナル資金ヲ審託シワアル民衆ニ對充當
然ノ責務ナリ其他監理ニ關ル條文ヲ設ケ善ク法規、命令スル所
ヲ遵守セルヤ否ヤ資金、運用ケ正當ナルヤ否ヤリ審檢スルコト亦
コトヲ期待シテ已マサルナリ

最近ニ政府當局ハ綱紀、肅正ヲ標榜シ財政行政、整理ヲ企畫ニ

更ニ進テ財界、緊縮ヲ要望セリ是時ニ膺リ世間批難、焦點
トナレル預金部、如キハ第一着ニ革新ヲ要アルコト多言ヲ待タス
本會ハ茲ニ私案ヲ提出スルト同時ニ改造、實現カ一日モ早カラム
コトヲ期待シテ已マサルナリ

六、特別會計整理案一件
本來、赤字月数三百、總會於予加議結果印刷局、寫真局、牛乳製
造所、鐵道所及簡易生命保險、二會計、特別會計存續、其他
全部兩會計轉手又、廢止スルニト、注足ヨリ各細、近日理由書作製
上報矣ヘレ

一、為使該處應急呈聞、十月五日、開會、件
済下、為使後、即日、開會、十月五日、總會、於臺灣、文據ヲ試

辨啓左記件々御通知申上候

一、預金部改造成案一件

本決定案ハ主たる社及經濟雑誌社送附に且大藏大臣及大藏省
主事官吏三職附セニ實口藏相ヨリハ立案大参考トヒ旨特ニ面看アリ
本會提案、實効開シテハ承知シ難キも大藏省ニ於テ預金部改造成案ヲ
審議至三方リ本案ニ多大注意ヲ拂ヒタルコトハ事實ナリト仄聞入

一、特別會計整理案一件

本案ハ去十月廿三日總會於テ協議、結果印刷局、專賣局、牛乳製
紙所、製鐵所及簡易生命保險、五會計ハ特別會計、存續ニ其他
全部一般會計ニ移スカ又ハ廢止スルニ決定セリ參照近日理由書作製
上報告スヘレ

一、為換依落應急策、開レ。○。○。○。開會一件

現下、為換依落問題開レ去廿三日總會於テ意見交換ヲ試ミ

本問題ハ社會一般、利害消長至大、關係ヲ有ル重要事項ナシハ重チテ
審議シ處ヘク之カ對策ヲ決定シテ世上ニ公表スヘシト、意見多數ナリシ付
來ル。十月五日(水曜日)午後五時ヨリ銀行俱樂部ニ總會ヲ開キ左會議
題トレバ研究ヲ重ネントス

1 圓價田穀策トレバ輸入管理ヲ為ヌ可否

以上御通知申上置候通、東ニ十五日大曜日午後五時ヨリ銀行
俱樂部ニ於テ開會、總會議案左記、通りニ付御締合申奉會ヒ
下度候也

大正十三年十月十九日

經濟政究會委員

志立 鐵次郎

印鑑

拜啓豫テ御通知申上置候通、東ニ十五日大曜日午後五時ヨリ銀行
俱樂部ニ於テ開會、總會議案左記、通りニ付御締合申奉會ヒ
下度候也

大正十三年十月十九日

經濟政究會委員志立鐵次郎

第一號議案参考

○貨幣法第二條 純金、量目ニカツヒ價格、單位為シニラ圓ト称ス

○兌換銀行券條例第一條

兌換銀行券ハ日本銀行條例第十四條ニ據リ同銀行ニ於テ發

并啓豫テ御通知申上置候通り東ニ十五日大限日午後五時ヨリ銀行俱樂部^二於テ開會ノ總會議案左記、通り二月御総合席會已下度候也

大正十三年二月十九日

經濟政研究會委員志立鐵次郎

田中鐵次郎様

第一號議案 圓價回復策

甲案 速ニ金貨ノ輸出禁止ヲ解除スルコト

乙案 爲換相場ヲ標準トシテ金貨ノ自由拂渡ヲ開クコト

實行時期 (一)速時決行 (二)豫告期間ヲ與テ後實行

丙案 輸入管理ヲ為シ原料其他必需品ニ限り相當價格ヲ以テ自由ニ金貨ヲ拂渡スユト

丁案 成行ニ放仕スルコト

戊案 外國支拂資金ヲ補充充爲シ金貨ヲ現送スルコト

己案 外國ニハレティ^二トシテ設定シテ為換相場ヲ喰止メ同時圓價回復目標トシテ徹底的物價調節策ヲ決行スルコト

庚案 貨幣ヲ改造シテ圓ノ平價ヲ低下シ兌換制度ヲ復スルコト

第二號議案

鐵道新設工事中止財政整理上喫緊事ニ屬ス^ニテ既定計画ハ斷然之ヲ打切り輸送能率^ノ増進ニ全力ヲ盡スベキコト

第一號議案参考

○貨幣法第二條 純金^ノ量目三分^ヲ以テ價格、單位ト為シ之ヲ圓ト称ス

○兌換銀行券條例第二條

兌換銀行券ハ日本銀行條例第十四條ニ據^リ同銀行^ニ於テ發

行に金貨ヲ以テ免換スルモノトス

○大正六年九月廿日大藏省令第二十ノ號

金貨幣又ヘ金地金ヲ輸出セドリ者ハ大藏大臣ノ許可ヲ受ク
シ但外國ニ旅行充者金貨幣中百円未満ヲ携帶不爲合ハ此

限リニアリス

前項規定違反スルモノハ三月以下懲役又ヘ百円以下罰金ニ處ス
地金トニ販賣又ヘ使用充目的ヲ以テ金貨幣ヲ蒐集鑄造

又ヘ毀傷シタル者罪亦前項同シ

○大正十三年十一月大藏省發表同時實行金地金賣值變更理由

從來金細工業者、齒科醫等對便宣正金銀行ニ於金地金ヲ大
體造幣價格ヲ擇準トニテ賣却シ未レモ奢侈ヲ抑壓シ金之密
輸出ヲ防止シ且國內之產金獎勵充目的ヲ以テ十一月一日以後ハ為
換相場ニ據リ賣却スルコト

經齊政究九會

OKHAKHEE 七區十八大鄉地丁簿 11
第一項賦役名目表

第 14 頁 4 月 15 日 95 年 4 月

圓價回復策
經濟攻撃九會

方案ヲ發表シタルカ其ノ一要項トシテ速ニ金輸出禁
止ノ解除ヲ行フコトヲ提議シタリ蓋シ円ノ價值カ弗
レ價值ニ比シテ低位ニ在ルハソレタケ其ノ購買力カ
低キヲ示スモノナルカ故日米兩國ノ貨幣購買力ヲ一
致セシメ以テ貨幣價值ノ平均ヲ保タシメサルヘカラ
ス而シテ之カ方法ハ正貨ノ機能ヲ復シテ之ノ國際貨
借ノ決済ニ使用スルト共ニ最大消費者タル政府ノ經
費ヲ徹底的ニ節減スルノ途アルノミ斯ノ如クニシテ
通貨信用ヲ收縮スレハ誰ニ民心ヲ刺戟シテ勤儉努力
ニ嚮ハシム同時ニ物價及勞銀ノ低下ヲ致シ生産ヲ容
易ナラレメ輸出ヲ促進スルヲ得ヘシ本會ハ此ノ策ヲ
具シテ政府ノ英断ヲ要望シタル以東既ニ數月ヲ閏シ

タルカ 政府、行政財政整理へ期待レタル如ク行ハレ
スレテ民心ヲ緊張シ物價ヲ低落セシムル程、効力無
ク貿易、情勢ハ稍観ヲ改メタルモ是ハ偶々輸出時期
ニ入りタル恒例的現象ニ過キス輸出超過ハ豫定額ニ
達セサルコト尙未遠タ前述ヘ再ヒ逆轉スヘキコト明
白ニシテ從來ノ莫大ナル輸入超過ヲ補填スルカ如キ
ハ固ヨリ望ムヘカラス是ヲ以テ為替ハ更ニ激落シテ
找貨幣ノ對外價值益低落シ國家ノ信用遞下ラ腐スル
コト實ニ寒心ニ堪ヘス近來為替問題ハ特ニ世間ノ重
視スル所トナリテ金輸出ノ解禁ニ對スル可否ノ議論
紛生ノ政府當局ニ赤之カ調節ニ努カスヘキコト
明ニタリ而モ當局ノ方策トニテ指不スル所ニ據レハ
規スル所トナリテ現送其ノ他ノ方法ニヨ
ルニ在舛正貨ノ拂下、内地正貨ノ現送其ノ他ノ方法ニヨ
ルニ為替ノ低落ヲ防止スルノ謂極的方針ヲ取ラムトス
ルニ過キサルハ顧ル不滿トスル所トナリ本會ノ現状ニ
益解禁斷行ノ必要ヲ感シ茲ニ再ヒ之カ決議ヲ爲

ニタリ其ノ理由ハ裏ニ詳説シタルヲ以テ之ヲ線逐ヘ
サヌト雖も當局者註ニ一部論者力解禁、斷行ヲ躊躇
スル根據ノ餘り薄弱ナルヲ見テ默止スル能ハス少シ
前言ヲ補足スルノ要アルヲ認ム
ハ輸入ヲ制限シ輸出ヲ獎勵スヘキヲ以テ自然的貿易
ハ輸入ヲ改善ニ為替ヲ調節スヘキコトヲ期待スルモノ、
如レ然レトモ金輸出禁止ノ障壁ヲ設ケ正貨ヲ以テス
ル貿易、決済ヲ停止スルハ是レ河流ヲ杜塞スルト同
一ニシテ人為ヲ濫用シテ自然ニ反抗スルコト是ヨリ
ナルハ無ン此ノ如クニレ貿易、回復ヲ望ムハ百
年河清ヲ待ツ均ニ元來我國ハ物資ノ供給豊富ナラ
ス純然タル輸出品トニテ倚頼スヘキモノハ生絲外數
品ニ過キス紡績絲及毛織物、如キハ皆原料ヲ外國ニ
仰カサルヘカラス其ノ他必需品トシテ輸入ニ待タサ
ルヲ得サルモノ頗ル多シ故ニ今後或る程度以上輸入
ノ減縮ヲ望ムコト困難ニレテ而モ為替低落ノ為ニ非
常ナル高價品ヲ購入スルコト、ナリ全國民ノ損害量
ルヘカラス又輸出方面ヲ觀ルニ目下生絲及綿絲等ハ
招物價ノ昂進ニタルモノニシテ今後海外ノ急需一巡
タルモノニシテ永續性ニ及シキモノト補スヘラ
徒ニ一時ノ現象ヲ見テ將來ヲ考慮セサルハ實ニ淺
見ト謂フヘシ
次ニ政府當局者註ニ之ニ附和スル論者、所見ヲ概言
スレハ金ノ輸出解禁ハ之ヲ至當ト認ムモ既ニ時機
ヲ逸ニタルヲ憾ム若し今日之ヲ實行スル時ハ為替及
商品市價ノ激變ニヨリ關係業者中ニ甚大ナル損傷ヲ
蒙ヘ延テ財界ノ恐慌、激成スヘキヲ以テ解禁ハ為替

犠牲者ヲ出スハ避々ヘカラサルコトニシテ之ニ因テ
物價騰貴ニ若ニミツ、アル全國民ノ困弊ヲ救治シ危
殆ニ趨カムトスル國家、經濟的基礎ヲ保持シ得ルニ
トニシテ想到セハ其ノ得失輕重、差固ヨリ智者ヲ待ナテ
合ニ於テ之カ影響ヲ被ル者ハ主トシテ投機者流ニシ
テ眞正ナル取引業者ハ金解禁反對論者、慎ル、程甚
大ナル實害ヲ受クルモノニアラス一時彼等ハ苦痛ヲ
感スヘキモ久シカラスニテ市場平靜ニ歸ニ為替、安
定ト共ニ堅實ナル取引行ハレ在荷品ノ需要起リテ苦
痛緩和セラレ前ニ産業貿易ノ生面ヲ開クヲ得ヘシ為
替ノ急激ナル回復力財界ニ及ホス影響ノ案外憂フル
タル當時ノ事情最モ雄辯ニシテ證明スボアニカレ
タル當年ノ本年三月中旬後佛國法貨ノ價值激騰ニ
足ラサルハ財政ノ雄辯ニシテ證明スボアニカレ
ハ嚴密ナル調査ノ上法貨暴落ノ眞因カ財政ノ紊亂歲
出入ノ大不平均ヨリ生スル信用ノ失墜ニ在ルヲ確メ

力平價ニ回復スルノ時ヲ待タサルヘカラスト去フニ
在リテ應急ノ方策トシテハ前記ノ如キ消極的方針ニ
依リテ為替ヲ調節ニ徐々ニ官民節約ノ實行ト生產ノ
奨勵トニ依リテ貿易ノ逆勢ヲ救治セムトスルモノ、
如ニ右ハ當局者トシテ各方面ニ支障ヲ及ホサ、ル意義ニ
於テ稳健ナル措置ノ如ク感セラルト雖モ此ノ如キ姑
息ナル手段ハ最早今日ニ於テハ何等施ス無キト擇フ
所十カルヘニ第一解禁カ時機ヲ逸シタルコトハ本會
モ亦之ヲ認ム故ニ今日之ヲ實行スレハ其ノ後レタル
タチ反應激烈ニテ苦痛深刻ナルコト亦凡カル、ヲ
得ス恰モ外科手術ニ因テ患部ヲ功用スルカ如シ輕症
ノ時ニ於テ之ヲ施セハ極メテ容易ナリシモ今日ニ及
ヒテハ比較的大ナル苦痛ヲ忍ハサルヘカラス而モ之
ヲ嫌忌シテ時日ヲ遷延セムハ病遂ニ膏肓ニ入り策ノ
施スヘキ無キニ至ラムトス金解禁ノ斷行ニヨリ一部

財政、整理緊縮ト租税ノ増徵トヲ断行シテ以テ歳出入、確實ナル均衡ヲ期スヘキ大決心ヲ為シ一律ニ割據税案其、他、財政案ヲ議會ニ提出シテ其ノ同意ヲ得ルト共ニ英米兩國ニ「クレディウト」ヲ設定シテ為替資金ニ備フルノ方策ヲ定メタリ。ボナンカレー、代リ内閣ヲ組織シタルエリオ。モ全然前内閣ノ財政々策ヲ踏襲シ豫算ノ嚴正ナル均衡ヲ期スルコト絶對必徴ナル旨ヲ聲明シ著々之ヲ實行セリ斯ノ如クニシテ貨物ハ急激ニ回復シ本年三月八日英貸一磅ニ對シ百法二十二法五〇ニ下落シタル為替相場(造幣比價二十五法二二五)ハ四月二日七十三法ニ昇騰シ即チ一ヶ月ニ満タサル体平價ニ對スル低價割合三十八割ヨリ十九割ニ暴騰セリ之カ爲ニ諸株式暴落シ蘇士運河株ハ一千株萬四千六百法ヨリ九千二百法ニリオティント」銅山市場ハ三千八百二十法ヨリ二千四百法ニ激落スル等株式市場ハ大混乱ノ状ヲ呈シ銀行亦大ニ警戒セリ然レ

トモ一般国民ハ案外冷靜ニテ政府、決心ヲ歡迎シ
眞正ナル商工界ハ格別動搖、模様無ク投機界以外ハ
平穩ニ経過シ、再米貿易額ル順調ニ進捗ニテ本年初次
來七月末マテニ二十億法銭、輸出超過ヲ來ニ殊ニ製
造品ノ輸出著シク増加セリ又物價、指數ニ於テモ本
年四月末卸賣商品ハ二月末ニ比シ九十六^四イニ止下
諾エタリ其ノ後幾分反動、氣配アリニモ大体下落、
趨勢ヲ辿リ就中内國產ノ食料品ニ於テ著シキ低落ヲ
告ケ一般民衆、苦痛頗ル輕減セラレタリ今我國、經
済狀態如何ニ不良ナルモ金解禁ノ為メ田、價值急激経
致スルコト無カルヘキハ佛國、近例ニ徵シテ疑^シ
ト信ス

目的を達成せラル、ニ於テハ何ソ復タ解禁ヲ要セム
ヤ當局者ハ前記ノ如ク國民ノ繁殖ト生産ノ振興ト
依リ現態ヲ救済シ得ルコトニ屬望シ英國力實行シタ
ル事例ニ模倣セムト期スルカ如キモ是ハ我国情ト
心シ、機微ニ洞達セサルモノナリ由來我國ハ天惠ニ
スルニテ富源ノ拓殖、產業ノ振興ニハ特別ノ奮勵ヲ
拘ハラス近時民心ノ歸趨ヲ觀ルニ遺憾十力
遇鬼荒急ニテ緊張味ヲ缺ケリト謂ハサルヲ得ス火
患度、發憤ヲ致ス七財眾、土崩的侵蝕ニ因ル
テ狼狽スルモ煙ヲ見テハ警メス敵国外患ニ對シ
危難ニ冷淡ナル國民ニ對シテハ敢テ好マヌコトナ
カニ金貸流出ナル鐵道ヲ加ヘ災害、身ニ迫レルヲ自
覺セシムサルヘカラス歐米ノ經濟學者中ニ有替ノ急激
ナル昇騰ヲ戒ムル者アルモ是ハ普通一般ニ場合ニ通じ
用スヘキ學說ニシテ反首心ニ至ニキ我國民ニ應用ス
邦家ニ

ヘキニアラス我政府ノ行政整理ヲ佛國ノ如ク行
レタラムニハ國家ノ信用ト共ニ田價セ多少回復シタハ
ルヘキニ政府ノ整理力既ニ識者ノ期待ヲ裏功リタルヲ
以上速ニ金ノ輸出禁止ヲ解除スルノ必要愈大ナルヲ
加ヘタリ徒ニ口古ニ依ル訓誡又ハ紙片、宣傳ノ如キヲ
ハ何等ノ効力無カルヘシ
高木大藏省ハ大正六年九月省令ヲ以テ金ノ輸出制限
及金貨、鑄潰等ヲ禁止シ更ニ本年十一月ヲ以テ正
銀行カ金地金ヲ賣却スルニ富リ從来造幣價格ヲ標準
トシタルヲ改メテ以後為替相場ニ據リ賣却スルコト
ヲ發表シタルカ此ノ兩者ハ法律ニ不換紙幣ト為シタルト
免換制度ヲ停止シ免換券ヲ不換紙幣ト為シタルト
一ノ省令又ハ通知ヲ以テ法律ヲ變更シタル重大事
件ナルカ此ノ兩者ハ法律ニ不換紙幣ト為シタルト
テモ其ノ效力アル行政行為ニシテ而モ勅令ニモアラサル
法ナルハ實例十キハ勿論我憲
テモ其ノ不法ナルハ言ヲ待タス然ル

國民深く之ヲ怪々サルモノ以テ我國民ニ痛撃シ
以加ヘテ之ヲ覺醒スルゝ理由タラストセス
上説ヤ來レバ今日ハ最早唯一ノ手段タル金輸出、
禁ヲ取ルノ良策十三現實ニ苦痛ヲ体験スルニ因テ
生スル國民ノ自覺的節制及努力ト通貨收縮ニ伴フ物
價、低落ト相待チテ始テ產業ノ伸暢、為替ノ好轉ヲ
望得ヘン要ハ當局者ノ英斷如何ヲ顧ルノミ好轉ヲ物

鐵道問題對策
(理由) 本項モ亦本會力襄ニ決議ニタル政府事業整理方
案中ノ一項ニテ其ノ理由ハ載セテ第二回報告中ニ
在ルヲ以テ該ニ記述スルノ要ナシ唯再ヒ此ノ決議ヲ
シタル所以ノモノハ鐵道豫算問題カ紛糾ヲ極メタ
六

鐵道問題對策
鐵道間新設工事ノ中止ハ財政整理上喫緊ノ事ニ屬スルヲ以
テ盡スヘキコト
理由 本項モ亦本會力襄ニ決議ニタル政府事業整理方
案中ノ一項ニテ其ノ理由ハ載セテ第二回報告中ニ
在ルヲ以テ該ニ記述スルノ要ナシ唯再ヒ此ノ決議ヲ
シタル所以ノモノハ鐵道豫算問題カ紛糾ヲ極メタ
六

因ハル、所アルニ歎焉タラサルヲ得ス況ムヤ舊來ノ
政策ヲ復活セムト努力ムルニ於テラヤ固ヨリ各地方ノ
事情ト各箇人立場ヲ異ニスルカ為ニ之カ主張ヲナ
大局ニ注クニ於テハ這般ノ問題ハ聯時ニ解決スヘシ
多クノ貴重ナル時間ヲ費シ波瀾曲折ヲ重ネテ而モ其
ノ歸著スル所彼ノ如キハ實ニ遺憾ニ堪ヘス
勿論鐵道ノ發達ハ產業ノ振興ニ至大ノ關係ヲ有スル
力故ニ寸時モ閑却スヘキニアラスト雖モ現下ノ財政
状態トシテハ投下シ得ヘキ資金豊富ナラサルヲ以テ
出来得ル限り之ヲ活用シ其ノ施設ヨリ生スル收利ノ
多大ヲ期セサルヘカラス故ニ運輸上ノ故障續出シ滞
貨堆積セル今日ニ在リテハ運賃ヲ低下シ且輸送能率
増進ニ全力ヲ盡スヲ以テ急務トスヘシ是レ反テ鐵
道ノ收益ヲ増加スルト同時ニ產業ノ發展ヲ助長スヘ
キ兩全ノ策タルノミナラス收益ノ餘裕ハ他日建設工
事費ニ充用シ得ルノ利アリ所謂鐵道既定計畫ナルモ
ノ、杜撰ナルコトハ曩ニ之ヲ指摘ニタリト雖モ其ノ
中實際建設ノ必要アルモノ亦乏レ無ニトセス若シ鐵
道ノ營業成績好化ニ賴リ建設工事ノ進捗ヲ期待スル
速ナルヘシ鐵道當局者ニ改良ニハ此ノ意ヲ加味セルコトヲ聞セリ之ニ開シテハ
贊同ニ憚カラサルト同時ニ本會ハ更ニ一步ヲ進メ貫徹新
設工事ハ當分之ヲ中止マサルナリ

圓 價 回 復 条

圓價ノ回復ハ金貨輸出ノ解禁ニ依ルノ外良策ナキヲ以テ速ニ之ヲ
斷行スルコト

(理由) 本會ハ本年五月第三回報告ヲ以テ我經濟界救治方案ヲ發
表シタルカ其ノ一要項トシテ速ニ金輸出禁止ノ解除ヲ行フコ
トヲ提議シタリ蓋シ甲國ノ貨幣價值カ乙國ノ貨幣價值ニ比シ
テ低位ニ在ルハソレタケ貨幣購買力カ低キ爲ナルヲ以テ兩國
ノ貨幣購買力ヲ一致セシメテ茲ニ始メテ貨幣價值ノ平均ヲ保
タシムルヲ得ヘシ故ニ我圓ノ價值ヲ弗ノ價值ニ高メ爲替ヲ平
準ニ復スルニハ米國ノ物價指數ヲ目標トシテ我通貨信用ノ收

事ニ及ベリニハ米國へ貿易計画ノ目録イリテ特許貿易ヘ即
及シムホモ特ヘモ造ニ製圖ヘ同跡ミ張ヘ貿易ニ高キ積善ミ平
ヘ貿易難賣也モ一途ナシテ貿ニ銀又テ貿易員頭ヘ平成ミ粉
ヤ通算ニ至ルハセシテ貿易難賣也貿易員頭次ニ通チ紙ナム以テ兩國
イ支那頭も及リ蓋シ中國へ貿易員頭次ニ圓ヘ貿易員頭ニ出シ
逃セシム其ヘ一要思イムテ愚ニ金難出禁工ヘ輸出ミ旨にて
(題由)本會ハ本邦正良渠三田好吉モ以テ對外商界總部立案ミ發

調査スルモノイ

國貿ヘ同貿ヘ詮賞解出ヘ標準ニ准ルヘ長良京ナキモ國モ愚ニムモ

輸入貿易ノ方法トノ開拓トノ購買力ヲ正當ノ比率通り一致セシム
ルノ外策ナク之カ方法トシテハ正貨ノ機能ヲ復シテ貿易ノ顧問
貸借ノ決済ニ使用スルル如共ニ最大消費者タル教習ノ經費ヲ徵
收的ニ都減スルヲ務アルノミ斯ノ仰御勤務勵行書ハシメ同時即物價取
ズレハ盛ニ民心ヲ興奮シテ勤務勵行書ハシメ同時即物價取
勞銀ノ低下ヲ數シ生産ヲ容暢ナラシメ輸出ヲ促進スル事
以來漸知敷月ヲ當シタル力政府ノ行政財政監理ハ期待シタル
府體制得シ方策ナル批ツ考之が政府ノ獎勵ヲ要望シタル
如ク行ハレスシテ民心ヲ繫張シ物價ヲ低落セシムル想ノ効力
無ク賀賜ノ清懶的才鑑ヲ取メタルモ是ハ獨々輸出時期ハ不

誠々質疑ノ計議ハ諒解セシムトニシテ是ノ事例ハ對外貿易ニ入リ
或々言ヘンスルヤ質小ヨリ蒙テシテ財貨ニ通商ナシムハ勝レ映成
以來酒ニ煙草ニ關シ及バ火薬ノ計議ハ計議横通華人民族等之
一寧南縣ニ支那大利賈ノ案ニ其ノヤ煙草ノ英潤ア要望シモ此
幾賤ヘ通すニ至シ生産ニ容忍ヤアリバ輸出ミ野獸スヘア運営
スノヘ茲ニ見小ヨリ陳算シテ體制采伐ニ勝ヘニシヤ賦課計開ミ難

(財政問題ニ付於スハノ義テハシテハニシヤ賦課計開ミ難
額計資糧ノ充當ニ對付スハイ共ニ量大消費率ニ小額課ノ稱費ニ
國庫ノ供給セキヤカニ改進イシヤハ正貨ヘ輸出シテモ立ヤ

タル恒例的現象ニ過キス輸出超過ハ豫定額ニ達セサルコト尙
見サル回復スヘキ時一ノ方策ナルコトヲ惜ス其ノ理由ハ參ニ
水遠ク前途ハ再ヒ逆轉スヘキコト明白ニシテ從來ノ莫大ナル
輸入超過ヲ補填スルカ如キハ固ヨリ望ムヘカラス是ヲ以テ爲
特ニ甚シキ認見ハ爲替ラ自然ノ成行ニ放任シ人爲フ加フルラ
ヲ感スル所トナリテ金輸出ノ解禁ニ對スル可否ノ議論紛生シ政
府當局者モ亦憂惧ノ色ヲ現ハシ之カ調節ニ努力スヘキコトヲ
聲明シタリ而モ當局ノ方策トシテ指示スル所ニ據レハ在外正
貨ノ拂下トワ則待スルモノ、如シ然レドモ金輸出禁止ノ限シ
設ケ正貨ヲ以テスル貿易ノ決済ヲ停止スルハ是レ河流ヲ杜塞
防止スルノ消極の方針ヲ取ラムトスルニ過キサルハ頗ル不滿

前出スルノ如ニ貿易改鑑モニムイヌヘニ當ナセハ謂ハ不感
貲ハ無可ト内通五貨ノ概要其ハ謂ハ貯蓄ニシテ貯蓄ノ種類
整開セキリ而テ當局ハ貯蓄イクテ暗示スル謂ニ財ノヘ貯蓄種
種當局者亦憂掛ハ音ミ度ハシタク謂謂ニ達成スヘキ事
貯スル謂ナリテ金輸出入職業ニ經スル貯蓄ニ達成スヘキ事
ア爾スルニ實ニ寒心ニ掛ハス銀來貯蓄側銀ハ轉正掛用銀可
能者納入鐵器大木板等ハ國大利差ムヘ次々景況モ變モ銀
本銀ヘ前後ヘ再ヨ避難スヘキセリ聞白ニシテ發來ヘ莫大ナム
トスル所ナリ本會ハ今モ猶ホ金輸出ノ解禁ヲ主張シ是ヲ以テ
爲替ヲ回復スヘキ唯一ノ方策ナルコトヲ信ス其ノ理由ハ曩ニ
群說シタルヲ以テ之ヲ繰返ヘサスト雖モ當局者並ニ一部論者
防解禁ヲ断行ラニ據スル根據外輸品リ薄弱ナルヲ見テ默止スル
能ハキ少シ財庫外匯足供カルノ要アルヲ認ム
特ニ甚シキ觀見ハ爲替ヲ自然ノ成行ニ放任シ人爲ヲ加フルヲ
不可トスルノ意見ニシテ此ノ說ハ爲替モ低落ハ輸入ヲ制限シ
輸出ヲ獎勵スヘキヲ以テ自然的ニ貿易ヲ改善シ爲替ヲ調節ス
ヘキコトヲ期待スルモノ、如シ然レドモ金輸出禁止ノ障壁ヲ
設ケ正貨ヲ以テスル貿易ノ決済ヲ停止スルハ是レ河流ヲ杜塞

體や五貨や通モス水質暴々劣等セ特立スハ暴ノ西派モ其家
ヘキニイマ限界水子ハ、財シ然ソイチ金鉛出華山、烟煤セ
鉛出セ煙煤スヘキセ道モ自然苗ニ質暴モ西替シ鉛替モ贈頃ス
不直イスル、意見ニシテ苗ハ備へ備へ鉛替、鉛替ハ鉛入モ贈頃シ
鉛ニ甚シキ嘗見ハ備替モ自然ハ鉛音ニ甚丑シ人爲モ感ベハヤ
鉛ハス心シケン言モ前呈スハ、要てハヤ語ム
鉛、鉛茶、鉛音セ翻翻ス以財勢ハ給リ鉛頭七八モ星モ鉛山ス
鉛頭シ及小モ以モ文モ鉛頭ヘセスモ鉛子當風容並ニ一筋鉛替
鉛紫ニ同色スヘキ加一ヘむ紫七八ロイモ皆ス其ヘ鉛山ヘ急ニ
スルト同ニニシテ人爲ヲ擅用シテ自然ニ反抗スルコト是ナリ
大ナルハ無シ此ノ如クニシテ貿易ノ回復ノ望ムハ百年河清ヲ
待ツニ均シ元來我國ハ物資ノ供給豊富ナラズ純然タル輸出品
トシテ倚頼スヘキモノハ生絲外數品ニ過キス紡績絲及毛絲物
ノ如キハ皆原料ヲ外國ニ仰カサルヘカラス其ノ他必需品トシ
テ輸入ニ待タルヲ得サルモノ頗ル多シ故ニ今後或ル程度以
上輸入ノ減縮ヲ望ムコト困難ニシテ而モ爲替低落ノ爲ニ非常
ナル高價品ヲ購入スルコト、ナリ全國民ノ損害量ルヘカラス
又輸出方面ヲ觀ルニ目下生絲及緞絲等ハ活況ヲ示セルモ是ハ
英米財界ノ好況、支那内亂ノ終結等外國ノ事情ト爲替關係ト
等

英米根果入穀量、支那内通入穀量等は、率計イ纏替額等
更轉出次回に對しニ日干坐轉支額等、ヘ當局を示す小字量へ
大水害賠品等輸入又ヘイ、ナリ全額還入財務省へ大モス
土銷入、總額、望ムニ、國庫ニモ、而子貢替額等へ、即ニ本當
テ輸入ニ科及セハ、將セハ子、總額、即ニ今後、其處過
入取手ハ皆原株マ、代國ニ、將セハ、次モス其、雖必需品モ、
オハ、テ、奇跡スヘ、半子、ハ、生絲代還品ニ、甚半ス、該絲類又、手織絲
綿、ニ、被、元來、特種ハ、總資ハ、相當豐富モ、モス、雖然、一、總出品
大モハ無、且ハ、取手ニ、モ、貴昌ハ、同、總額、百半減削モ
力相綜合シテ、輸出ヲ促進シタルモノニシテ、今後、海外ノ急需、
巡スルト、同時ニ、物價ノ、昇進ニ基ク、生産費ノ、遞増ニ因リ、輸出ノ
絆折ヲ招クヘキコト明ニシテ、永續性ニ乏シキモノト稱スヘシ
徒ニ眼前中間景氣發生ノ兆候ニ、眩惑シテ將來ヲ考慮セサルハ
實ニ懼ムニ堪ヘタリラルト、此ノ如キ姑息ナル手段ハ、最早
次ニ政府當局者並ニ之ニ附和スル論者カ所見ヲ概言スレハ、金
ノ輸出解禁ハ之ヲ至當ト認ムルモ既ニ時機ヲ逸シタルヲ憾ム
若シ今日之ヲ實行スル時ハ、舊普及商品市價の激變ニヨリ、關係
業者中ニ甚大ナル損傷ヲ與ヘ延テ財界ノ恐慌ヲ激成スヘキヲ
以テ解禁ハ爲替力平價ニ回復スルノ時ヲ得タサルヘカラスト

待

因モ輿論ヘ貢君次平君ニ因爲スル、而モ爲めヘ成モス

禁

業者中ニ甚大ヤル影響マ東ヘ延モ世界へ影響マ過度スヘキヤ
甚シ今日之ニ實行スル相ヘ該署又商品市況ヘ影響ニ日リ開示
ハ解出港禁ヘタマ並當オ諸ムルヨリ獨ニ御難マ造レバハヤ解ム
夫ニ題根當風皆物ニテニ御難大ハ當管ヘ御見マ難言ハコヘ金
賞品等ムニ致ハタリテニ明文ナシハ故モス其ノ後發送品モ
許ニ御用申御景除整主ヘ承認ニ照應マモ該委マ蒙加サセハ
苦難モ解ヘテ手口イ御ニセキ采辦船ヨリアラ手口ヘイテスヘラ
既スハイ同期ニ解禁ヘ是事ニ蒙ヘテ漁業ヘ該港ニ開リ解出ヘ
云フニ在リテ應急ノ方策トシテハ前記ノ如キ消極的方針ニ依
リテ爲替ヲ調節シ徐々ニ官民節約ノ實行ト生產ノ獎勵トニ依
リテ貿易ノ逆勢ヲ救治セムトルモノ、如シタルコトニシテ
右ハ當局者トシテ各方面ニ支障ヲ及ホサ、ル意義ニ於テ種健
康ナル措置ノ如ク感セラルト雖モ此ノ如キ姑息ナル手段ハ最早
今日ニ於テハ何等施ス無キト擇フ所ナカルヘシ第一解禁力時
機ヲ逸シタルコトハ本會モ亦之ヲ認ム故ニ今日之ヲ實行スレ
ハ其ノ後レタルタケ反應激烈ニシテ苦痛深刻ナルコト亦免カ
ル、ヲ得ス恰モ外料手術ニ因テ患部ヲ切開スルカ如シ輕症ノ
時ニ於テ之ヲ施コセハ極メテ容易ナリシモ今日ニ及ヒテハ比

制ニ付セタゞヤ献セサヘ跡大ヤ容易ナリモ子今日ニ氣ヨテハ且
ハノミ骨又骨子松株手術ニ因モ鬼畜モ附體スム女體モ難能入
ハ其ノ骨ノ及以テ又モ鬼畜モ鬼畜モ苦蟲類家モ此ニイ本草改
鑑モ歎シキニヨイヘ本會ニ來ムヤ頃ニ今日六ヤ實音スノ
今日ニ外モハ同學術ス無キト擧テ謂モ六八ヘシ第一齋禁火御
モハ昔々嘆モ各衣面ニ支綱モ更本セノハ意美ニ付モ解説
古ヘ當原音ノモテ各衣面ニ支綱モ更本セノハ意美ニ付モ解説
リモ貢易ヘ盤整モ殊語サムイヌハニヘノ眼モ
リモ貢替モ諸國モ翁ムニ官呂通共ヘ實管イ主産ヘ理綱イニ過
ハレニ在荷品ノ御要言リテ皆物種相セラレ茲ニ通商貿易ノ生面
延セハ病ハ遂ニ膏肓ニ入り策ノ施スヘキ無キニ至ラムトス金解
禁ノ斷行ニヨリ一部犠牲者ヲ出スハ避クヘカラサルコトニシテ之
ニ因テ物價騰貴ニ苦シミツ、アル全國民ノ困弊ヲ救治シ危殆ニ
タル當時ノ事情最モ雄辯ニ之ヲ證明ス「ボアカソレ」ハ歐
シタルノ得失輕重ノ差固ヨリ智者ヲ待テ後ニ知ラス且夫レ突發的作用
ニ因リ物價激落スル場合ニ於テ之力影響ヲ被ル者ハ主トシテ投機
ノ増微トヲ断行シテ以テ歲出入ノ確實ナル均衡ヲ期スヘキ大
密ナル調査ノ上法貨暴落ノ實内カ財政ノ紊亂歲出入ノ大不平
者流ニシテ眞正ナル取業者ハ金解禁反對論者ノ惧ル、程甚大
決心ヲ爲シ一律ニ增稅案其ノ他ノ財政案ヲ議會ニ提出シテ
ナル實害ヲ受クルモノニアラス一時彼等ハ苦痛ヲ感スヘキモ久
其ノ同意ヲ得ルト共ニ英米兩國ニ「クレディット」ヲ設定シ
シカラスシテ市場平靜ニ歸シ爲替ノ安定ト共ニ堅實ナル取引行
シテ爲替資金ニ備アルノ方策ヲ定メタリ「ボアカンレ」ニ代

シテモスシモ市樹平穀ニ種シ試卷、安宝ト共ニ運實大ハ東印度
セシ實害セ受キル子ニテモス一相難樂ヘ苦痛モ想スヘキ子八
番前ニシモ貞五十九頭臣業者ヘ金職禁足權能者ヘ肆ハ、肆甚大
因リ佛賈通商スル總合ニ付モ文ニ羅摩モ財八番ヘ主モモ姓
ノ界矣、肆重ヘ茲固ミリ啓者モ特モ參ニ候モ且夫、突厥諸邦甲ニ
敵兵ムイヌハ國家ヘ雖奇屈基難モ果缺モ肆ハコイニ懸隔ナヘ其
ニ因モ佛賈難貴ニ苦シシヤ、テハ全國民ヘ困窮モ難能シ誰領ニ
禁ヘ開會ニヨリ一船營持者モ出スヘ經々ヘ改モセハニヨニシモ
渡サヘ舟ハ多ニ資富ニ入り賛ヘ歟スヘキ漁牛ニ至モムイヌ金精
ハレ在荷品ノ需要起リテ苦痛緩和セラレ茲ニ產業貿易ノ生面
ヲ開クヲ得ヘシ爲替ノ急激ナル回復力財界ニ及ボス影響ノ案
外憂フルニ足ラサルハ本年三月中旬後佛國法貨ノ價值激騰シ
タル當時ノ事情最モ雄辯ニ之ヲ證明ス「ボアカソレ」ハ嚴
密ナル調査ノ上法貨暴落ノ眞因カ財政ノ紊亂歲出入ハ大不平ニ
均ヨリ生スル信用ノ失墜ニ在ルヲ確メ財政ノ整理緊縮ト租稅
ノ增徵トヲ斷行シテ以テ歲出入ノ確實ナル均衡ヲ期スヘキ大
決心ヲ爲シ一律二割増稅案其ノ他ノ財政案ヲ議會ニ提出シテハ
其ノ同意ヲ得ルト共ニ英米兩國ニ「クレディット」ヲ設定シ此
テ爲替資金ニ備フルノ万策ヲ定メタリ「ボアカソロ民」ニ代

テ 稲替資金ニ輸マハヘ衣粟ミ家々アリ「ホテロゾ」ニ升
其ノ同意ミ群ハイ共ニ英米兩國ニ「セ」モトゼイ」モ鑑定
少々ミ貯ヒ一等ニ階曾鑑定其ノ駒ヘ相迎案ニ鑑會ニ提出シテ
曾鑑イモ潤谷シテ以テ輸出入ノ額實ナハ因済ミ限スヘキ大
密ナム調査ヘ土若貴暴落ヘ眞因立憲題ヘ豪闊輸出入ヘ大不平
及ハ當初ヘ肆計量子誠驗ニシモ鑑定ス「ホテロゾ」ヘ鑑
代臺ヘハニ且モセハ本半三艮中日鉄園越貢ヘ賈前通鑑シ
ミ開ヘモ群ヘシ貯番ヘ急造ナム同處立憲題ヘ案
本年三月八日英貨一磅ニ對シ白二十二法・五〇ニ下落シタル
馬替相場ヘ造釐比價二十五法三二五ハ四月二日七十三法ニ
昇騰シ即チ一ヶ月ニ滿タサル内半價ニ對スル低價割合三十八
割ヨリ十九割ニ暴騰セリ之カニ諸株式暴落シ蘇士運河株ハ
一萬四千六百法ヨリ九千二百法ニ「リオティント」銅山株ハ
三千八百二十法ヨリ二千四百法ニ激落スル等株式市場ハ大混
亂ノ狀ヲ呈シ銀行亦大ニ警戒セリ然レトモ一般國民ハ案外冷

國へ其ニ星々興亡奉大ニ譽歎カリ然ソイテ一過國外ハ學校部
三千八百二十過ヨリ二千四百過ニ過當ベハ製糖工事場ハ大品
一萬四千六百過ヨリ武千二百過ニ「シカモントン」國與林ハ
踏ミリ十丈踏ニ尋覗カリ又ハ國ニ臨林左暴苦シ紳士畢所林ハ
畏縮シ明モ一セ良ニ而ヒセハ四半間ニ達スハ過貢局合三十八
誠替畠恩（載遺出貢二十正過二二五）ヘ四日二日ナ廿三過ニ
本平三月八日英貢一過ニ健モ白二十二過正〇二不善之をハ
遵聞シ吾々文ミ實言ナリ謙ヘ限ヘニシテ越貢ヘ意過ニ因貢シ
ミ御邊シ貢真ハ過五七八以降モ過八九ニノ時後也此ヤハ音セ
體ニシテ政府ノ決心ヲ歎感シ真正ナル商工界ハ格別動搖ノ模
様無ク投機界以外ハ平穩ニ經過シ爾來貿易頗ル順調ニ進捗シ
テ本年初以來七月末マテニ二十過法餘ノ輸出超過ヲ來シ殊ニ
製造品ノ輸出者シク増加セリ又物價ノ指數ニ於テモ本年四月
末卸賣商品ハ二月末ニ比シ九十六「ボイント」下落シタリ其
ノ後幾分反動ノ氣配アリシモ大體下落ノ趨勢ヲ辿リ就中内國
產ノ食料品ニ於テ著シキ低落ヲ告ケ一般民衆ノ苦痛頗ル輕減
セラレタリ今我國ノ經濟狀態如向ニ不良ナルモ金解禁ノ爲メ
圓ノ價值ニ割方急激ノ回復ヲ告ケタリトテ論者ノ惧ル、尤如
キ恐慌ヲ招致スルコト無カルヘキハ佛國ノ近例ニ徵シテ疑ナ

半島發支地主ヨリ申候事ニ當りテ是モテ是モテ是モテ
國々貿易ニ當ル急迫ヘ同商ヲ告モ及見イテ諸君入賄ムノシ既
モテ又今弊國へ強制征賦既ニ不貞セバ金糧幣ヘ減又
通ヘ貿易品ニ氣ヤ聲モキ過激反吉ヘ一難大水ヘ苦難既此時通
ヘ邊境民又鹽ヘ課賦テリシテ大當年吾人勤勞ミ照見既中內國
未職賣商品ヘ二县未ニ其ニ武十六年水ナニ「下書」及其
標品ヘ耕出番々々部職セリ又鹽課入課既三縣モ子本半四县
々本半鹽恩來子貢未ヤモニ二十歲既續ヘ耕出鹽既來々縣ニ
禁制ヘ奸詐舉恩役ヘ半鹽ニ鹽既々貢來貢既既既既既既既既
シト信ス

第二局督ノ平價ニ復スルヲ侍チテ解禁ヲ實行セヨト言フニ至
リテハ其ノ眞意ヲ解スルニ苦シム蓋シ解禁ハ手段ニシテ目的危
ヨリ爲皆力谷勿ニ回復シ目的達成セラル、ニ於テハ何ソ復
タ解禁ヲ要セムヤ當局者ハ前記ノ如ク國民ノ繁縟ト生產ノ振
興トニ依リ現患ヲ救濟シ得ルコトニ屬望シ英國ガ實行シタル
事例ニ模倣セムト期スルカ如キモ是ハ我國情ト民心ノ機微ニ徴
洞達セサルモノナリ由來我國ハ天惠ニ乏クシテ富源ノ拓殖・シ
産業ノ振興ニハ特別ノ奮勵ヲ要スルニ向ハテ斯近時民心ノ歸

重宗、恭興ニハ御詔ヘ當廟ミテスム所ヘヤヌ政制史心ヘ體
拂シサセモ子ヘナリ由來夷國ヘ大康ニシテモ富國ヘ御賦奉
事國ニ好歎ナムイ頃スムシテ饑チテ旱ヘ野園耕ト失心ヘ難過ニ
興イニカリ愚懶ヘ凶青ヘ耕ハニテ飢窪ヘ英園也實音セキル
モ輒衆モ安サムア當風皆ヘ前指ヘ駆ヘ國男ヘ聚滿イ主體ヘ難
毛リ風音ウ谷長ニ回貯シ日相ア童如ナセムトニ死セハ西又難
ニテマヌクミ音ヘ御替モ向達ナムシテ難ナリ昔モ如天武時ニ
モテハ其ノ眞意モ輒スホニ苦セム蓋モ輒衆ヘ年過ニ及モ日相
儀ニ致音ヘ半貴ニ通スヨモ音モテ輒衆モ實音セモト音ヘニ生
五合邊ヲ觀ルニ遺憾ナカラ章思荒怠シテ少張昧ヲ缺ケリト謂ハサ
舌ニルヲ得ス火ニ遇テ狼狽スルモ煙ヲ見テハ醫メス敵國外患ニ對
尚ホシテハ板庚左發憤又致スモ財界ノ土崩的侵蝕ニ因ル邦家ノ危
難漸難ニ冷淡ナル國民ニ對シハ敢刃好マヌコト方カラ金貨流出ナ
却スル鐵樹ヲ加ヘ災害ノ身ニ迫レルヲ自覺セシメサルヘカラス歐
相場米ノ經濟學者往々爲替ノ急激ナル昇騰ヲ戒ムル者アルモ是ハ
ラス普通一般ノ場合ニ適用スヘキ學說ニシテ反省心ニ乏シキ我國
ルト民ニ應用スヘキ行アラス我政府ノ行財政整理力佛國ノ如ク徹
片ノ瘡的ニ行ハレタラムニ云ハ國家ノ信用ト共ニ大圓價モ多少回復シ
ノ如タル必至吾政府ノ整理力既ニ弱者ノ期待ヲ候裏切リタル以上速

地主ハキニ通報ヘ警戒大連ニ羅番ヘ誤特ミ裏突リテ以土敷
官邸ニ召ヘシモニヘ國憲ヘ詔取ト其ニ開闢子令心回顧
事ニ應田スヘキニテモス通報ヘ官根通報事體國ヘ感ヘ普
通一聲ヘ狀合ニ通報スヘキ學識ニシテ又音小ニテシキ達聞
米ハ殊奇學者存々獨善ヘ急道七八里通ヘ延ふ少當て八五景ヘ
ハ難勝マ貳ヘ災害ヘ良ニ既ノハ自覺士志大せハヘタニノ則
職ニ令越七八四員ニ遣シヘ運モ接バ又ロハ七氏モ金資斬出モ
シモヘ琳爽ヘ發財マ通スチ根界ヘ土庫由受給ニ因ハ特案ヘ貢
此モ勝ス火ニ既モ急購スル子盛マ良モヘ養々々急圖後康ニ譲
ニ金ノ輸出禁止ヲ解除スルノ必要愈大ナルヲ加ヘタリ徒ニ口
舌ニヨル訓誡又ハ紙片ノ宣傳ノ如キハ何等ノ効力無カルヘシ
尙ホ大藏省ハ大正六年九月省令ヲ以テ金ノ輸出制限及金貨ノ
鑄潰等ヲ禁止シ日本ノ十一月ヲ以テ正金銀行カ金地金ヲ賣
却スルニ富リ從來通幣價格ヲ標準トシタルヲ改メテ以後爲換
相場ニ據リ賣却スルコトヲ銘表シタルカ此ノ兩者ハ法律ニ據
ラスシテ事實上兌換制度ヲ停止シ兌換券ヲ不換紙幣ト爲シタル
ル件向一ノ効力アル行政行爲ニシテ而モ勅令ニモアラサル一
片ノ省令又ハ通知ヲ以テ法律ヲ變更シタル重大事件ナルカ斯
ノ如キハ憲政各國ニ實例ナキハ勿論我憲法ノ條項ニ照シテモ

ハ或キハ憲政各國ニ實例トキハ必論其意者ハ猶更ニ謂ムテ子
ルハ督令又ハ政略ニ恩ヤ若事ニ變更シテハ重大事務ナム謀
ハイ同ニハ既氏テ永齊延吉誠ニシモ而ニ神命ニシテモセバ一
モスリモ事實土氣興歸還モ尋丘シ京輿卷モ不與海僧イ誠ノモ
眞湯ニ就リ賣咲スハセイモ幾度シタハ既く開音ヘ起耕ニ耕ハ
咲スハニ當リ貧來或營貢番モ耕學不シタハ既く貢金貢
穀貢番モ禁丘モ更ニ本年十一月モ以テ五金貢金又金銀金モ賣
尚ホ大蟲皆ハ大五六卒式且督令モ以モ金、鍍出歸還又金貢ハ
舌ニ日水隔難又ヘ堪ハ宣舊く或キハ時事ヘ既氏無カハシ
其ノ不法ナルハ言ヲ待タス而ルニ國民恬トシテ之ヲ怪マサル
鐵道モノ亦以テ我國民ニ痛擊ヲ加ヘテ之ヲ覺醒スルノ理由タ既ラ定ス計
畫ハト然セラ打切り運轉ノ低廉運送能率ノ増進ニ全力ヲ盡スヘキ
コト以上説キ來レハ今日ハ最早最終ノ手段タル金輸出ノ解禁ヲ取
(理由ノ外良策ナシ現實ニ苦痛ヲ體験スル政ニ因テ生焉スル國民ノ自
覺的節制及努力ト通貨收縮ニ伴フ物價ノ低落ト相待テ始終テ記
產業ノ伸暢、ナ爲替暦ノ好轉ヲ望ムヲ得ヘシ要ハ所當局者モノ英斷如道
何ヲ顧ルノミ紛糾ヲ極メタルノミナラス協調ノ結果トシテ傳ヘ
テル、成案力財政整理ノ精神ニ違フヲ見テ顧ル技藝ニ堪ヘス
重ネテ世論ニ訴ヘムト欲ス是故トノ比寧ニ大ナル謀草ア

ハ波キヘ意到各國ニ實民七年ハ後御身患過、御病ニ附シモニ

且ヘ音音又ハ鐵道ヲ過モ過モ過モ過モ過モ過モ過モ過モ

少時多聞少々未て少音音音風ニカモ西モ西モ西モ西モ

モ過モ過モ過モ過モ過モ過モ過モ過モ過モ過モ過モ過モ

且音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音

鐵道問題對案

鐵道新設工事ノ中止ハ財政整理上喫緊ノ事ニ屬スルヲ以テ既定計畫ハ斷然之ヲ打切り運轉ノ低廉運送能率ノ増進ニ全力ヲ盡スヘキ

（理由）本項モ亦本會力襄ニ決議シタル政府事業整理方案中ノ一

項ニシテ其ノ理由ハ載セテ第二回報告中ニ在ルヲ以テ茲ニ記述スルノ要ナシ唯再ヒ此ノ決議ヲ爲シタル所以ノモノハ鐵道

豫算問題カ紛糾ヲ極メタルノミナラス協調ノ結果トシテ傳ヘル、成案カ財政整理ノ精神ニ違フヲ見テ頗ル技発ニ堪ヘス重ネテ世論ニ訴ヘムト欲ス

重木モ世論ニ禍ヘムト始ス

ハ・如案ハ根廻整野ヘ財庫ニ盡ミテ是モ國ハ貢奉ニ舉ヘ
貢莫聞取シタルミ難々ハシセモス諸國ヘ結果イシテ積ヘ
セ強スハ、要セシ御再立加ヘ大端ニ貢シムハ視以ヘシヘ、貢重
ニシテ其ヘ駆由ヘ導カモ、第一回講吉中ニ云ハセ以テ茲ニ語
(駆由) 本題モ心本會ハ妻ニ夫婦シタハ連珠事業運営式豪中八一

ニイ外土國を攻メハ全日本へ暴挙ナリ、人未見カア、金出ヘ國難マサ
畫ヘ幽然ニミヒシリ最轉ヘ逆張戰義誼率ヘ曾無ニ全代ニ盡スヘキ
鐵道工事ヘ中止ヘ根廻整野ニ娶渠ヘ事ニ風スハ、以テ過家指

抑モ財政ヲ根本的ニ建直シ我財界ノ救治ト民力ノ休養ヲ謀ルハ
現内閣力公表シタル政綱ノ一ニアラスヤ此ノ目的ヲ達成スル爲
ニハ非常ノ決心ト努力ヲ要スルト同時ニ萬般ノ施設ニ方勵テハ
事態ノ輕重緩急ヲ衡量シ國家全體ノ利害ヲ顧ミサルヘカラス從
テ一切ノ情實ヲ排斥シ從來ノ行掛リニ拘泥セサヘルハ勿論之カ爲
メニ多大ノ犠牲ヲ拂ヒ一時ノ不便ヲ忍フコト亦已ラ得サルナリ
ナル時尚ヲ變シ波瀾曲折ヲ重ネテ而其ノ歸著スル所徧ノ如キ
今次問題トナレル鐵道施設ノ如キハ最モ痛切ニ之カ適用ヲ受ク
ヘキモノニシテ歴代内閣ノ誤レル鐵道政策ハ此ノ際斷然拠棄ス
勿論鐵道ノ發達産業ノ振興ニ至大關係ナ在スル故也、時
モ開拓スヘキニアラス事現下ノ財政狀態トシテ提案トシテ傳得
ラル、モノヲ觀ルニ改良ト建設トノ比率ニ對シ大ナル變革ヲ計
ヘキ資金豊富ナラサルヲ以テ出來得ル限り之ヲ活用シ其ノ施設

ニル。子ハニ臘ハニ近見イ樹躋イハ出率ニ惟ハ大ハ變革ミ賦
ヘキ子ハナハニイ答言ミ辟々ス諱難昧ハ景暦ハ昇案イシテ勧ヘ
ヘキ子ハニシモ型分内閣ハ躋ハニ鑑眞延葉ハ此ハ禦瀬然御乘ス
（歴由本事）
今天問題イサハ鑑眞延葉ハ吸牛ハ景子前時ニハ立候用ミ受ヘ
キニ遂大ハ辯封ミ時ヨ一朝ハ不更ミ恐ベニイ衣ヨモ冠セハナリ
テ一世ハ計實ミ耗水ミ斧來ハ行樹リニ御武ナセハヘニ論文氏
事態ハ疎重鑑怠ミ濶量ミ圓案全體ハ味害ミ躋シセハヘニモス資
ニハ非常ハ少小イ幾代ミ安スハイ同朝ニ禹謨ハ誠鑑ニ式リモヘ
ヘタルハ之ヲ多トスト雖モ實際ヲ言ヘハ猶ホ囚ハル、所アルニ
歎焉タラサルヲ得ス況ムヤ舊來ノ政策ヲ復活セムト努ムルニ於
テヲヤ固ヨリ各地方ノ事情ト各箇人ノ立場ヲ異ニスルカ爲ニ之
カ主張ヲナスモノナルヘシト雖モ翻テ我財政ノ實情ニ鑑ミ眼ヲ
大局ニ注クニ於テハ這般ノ問題ハ瞬時ニ解決スヘシ多クノ貴重
ナル時間ヲ費シ波瀬曲折ヲ重ネテ而モ其ノ歸著スル所彼ノ如キ
人實ニ遺憾ニ堪ヘヌアルモノ亦之レ無シトセス若シ鐵道ノ營業
勿論鐵道ノ發達ハ產業ノ振興ニ至大ノ關係ヲ有スルカ故ニ寸時
モ閑却スヘキニアラスト雖モ現下ノ財政狀態トシテハ投下シ得
ヘキ資金豊富ナラサルヲ以テ出來得ル限り之ヲ活用シ其ノ施設

ハキ資金豊富大ニセハモ以テ出来得ハ題リ亡ミ吾用ヘ其取扱
チ閑時スヘキニテモスイ調子良可ハ極類如類ノ事ハ幾可シ
ハシ倫雖甚ハ通義へ漁業ハ通興ニ主大ハ開港ヘ事スハ此站ニ七
ハ寶ニ費歟ニ掛ヘス
ナハ利潤ヘ資シ逃歸曲港マ重木モ而子其ハ開港スハ相應ハ城
大員ニ当ヘニ死モハ量雖ハ間題ヘ獨利ニ難共セハ遂に貴重
次主張マヤスチヘ大ハヘシ
ナハ金額ハ甚く其ハ實計ニ當シ獨
テモナ固ヨリ谷底式ハ事計イ谷固人ハ立德モ異ニスルハ爲ニシ
爆震及モセハモ群入堵ムサ舊來ハ頗難モ財出スムト後ムハニ
ヨリ生スル收利ノ多大ヲ期セサルヘカラス故ニ運輸上ノ故障續
出シ流貨推積セル今日ニ在リテハ運賃ヲ低下シ且輸送能率ノ増
進ニ全力ヲ盡スヲ以テ急務トスヘシ是レ反テ鐵道ノ收益ヲ增加
スルト同時ニ產業ノ發展ヲ助長スヘキ兩全ノ策タルノミナラス
收益ノ餘裕ハ他日建設工事費ニ充用シ得ルノ利アリ所謂鐵道既
定計畫ナルモノ、杜撰ナルコトハ曩ニ之ヲ指摘シタリト雖モ其
ノ中實際建設ノ必要アルモノ亦之レ無シトセス若シ鐵道ノ營業
成績好化ニ賴り建設工事ノ進捗ヲ期待スルヲ得ハ縱令ヒ著手ノ
日ヲ遲延スルモ竣工ノ期ハ却テ速ナルヘシ鐵道當局者力改良ニ
重キヲ置ク趣旨ノ中ニハ此ノ意ヲ加味セルコトヲ仄聞セリ之ニ

董キニ置キ願言、申ニベ出セ意モ眞利サバロイマ入闇ナリ

日ニ黙致スメテ越處ノ牒ヘ味モ敷ナハヘシ體當局者ニ過貞ニ
如處積沙ニ隠リ興造工事ノ謀計ニ謀幹スバニ皆ヘ獨合ニ暮半ノ
人中實剝剥雖ニ心安てハシノ衣ウノ無シトナス苦シ難草、營業
宝信盡大ハシ子ト、其邊大ハシセベ疎ニテシ計識ニミリ相繼ニ其
地益ノ蘊蓄ヘ此日興造工事遂ニ底用ノ器ハルムテル也。而既
不外ト同様ニ塗業ノ急異ニ遇シヘキ兩全ノ策ナハシセテ、其地益
誠ニ全氏ニ盡スニ以テ急急リスベシ景ノ風モ鑑重ノ妙益ニ體感
出シ前貴君諸士ハ今日ニヨリテハ堅貢ニ過干シ且御急前事ノ體

謹啓開シテハ賛同ニ憚カラサルト同時ニ本會ハ更ニ一步ヲ進メ新設
委員工事ハ富分之ヲ中止シ以テ財政整理ノ精神ヲ貫徹セムコトヲ翼
附託望シテ止マサルナリホニキ而物議弔上後假尚付經理
付考會被下復社貶得貴意保

勿文

大正十四年八月五日

營セラレルニ對シテハ敬意ヲ表モナリ然レトモ已ニ憚ナク言ヘハ本會ハ未ダ
當局ノ底案未ニ満足セス緊縮ノ精神ヲ徹底セシムハ猶斧鉗加ルノ
餘地多大トルヲ認メ未年度以降ノ豫算ニ於テ更ニ政費ヲ効削シテ
賦課、輕減ヲ策シテ工座業ノ振興ニ資セシトヲ希望シテ止マス而モ世間

皇ニモサマセハセリ

江事ハ富氏ニミ中出シ以テ相互通報、諸事ミ貫通サムニトニ裏裏

開レテハ賀同ニ對スニセハ四相ニ本會ハ異ニ一過ニ蟲々謀端

謹啓末七日(金曜日)午後五時予當橋江南銀行事務所代
委員會相^可キ七月二十三日總會^於了決議上起稿方委員
附託^レ相商候左記議案^{ニキ}布^ル御議事上後候間^ニ傳緯后
房參會被下後此段得貴意候

勿々

大正十四年八月五日

經濟研究會委員志立鐵次郎

甲城三郎様

左記

財政整理續行^レ開^ル決議
本會ハ財政、整理緊縮^ヲ續行^シ之^ク徹底^ヲ期^ス、精神^ヲ
決^ス來ル^{ヘキ}年度、財政計畫^ヲ樹立^{スル}必要^{アル}認^メ左ノ決議

ヨハス
一緊縮政策ハ唯ニ^ヲ續^ル行^スニ^シ更^三層^ノ、努力^シテ之^ヲ實^シ

徴^ム期^ニコト

二末年度豫算、編成^シ當^リハ本年度^ニヒシ更^三削減^ヲ加^フキコト
三國費^ヲ節約^シ因^テ生毛財政、餘裕^ヲ賦課^シ、輕減^ト國債^ヲ償^フ

還^ヒ充當^スキコト

(理由) 本會ハ曩ニ我財界救治方策^ノトシテ一般行政、整理
緊縮^ヲ行^ヒ國費^ヲ節約^スヘキコトヲ決議^シルカ幸ニ財政當局者
モ茲ニ留意^シ大正十四年度豫算、編成^シ當^リ此^ノ方針、下ニ支経
營^{セシム}對^シハ敬意^ヲ表^シモ^ナリ、然^ヒ上毛^ノ揮^ナ言^ヘ本會ハ未^ダ
當局^ノ底^ニ滿足^セ緊縮[、]精神^ヲ徹底^{セシム}、猶斧鉗^{加^フ}、
餘地^多大^{ナル}、認^ム末年度以降、豫算^シ於^テ更^三政費^ヲ功^{断^シ}
賦課^シ、輕減^ヲ葉^シテ產業^ヲ振興^シ貨^{セシム}、希望^シテ止^{マス}而^モ世間

ト國勢^ヲ復^スリ

如^シ之^ノ事^ヲ當^リ行^ス也

一部、早毛繁縟政策、對テ批難、聲ヲ肆シ積極政策、再現渴
望凡者アリテ或ハ政府部内ニモ之ニ傾ク、吾幸キヲ保セス是レ最モ或ヘテ
要ニ時機ナリトス

惟ニ聲繙政策ヲステ商工業不振、原因ト為ニ俗諺ハ經濟、理通セ
サル者、陷リ易キ迷誤ニテ物資防務、最大購買者タル中央政府
及地方行政機關カ其、経費ヲ節減セハ從來是等ニ供給セラシ多量、物
資并ニ是等ニ依テ衣食ニシテ多數ノ勞務ハ忽ナ其ノ途ニ塞カレ就中軍
人、文官、警吏等多數、失職者ハ產業異、勞働者ト争フテ餉口途
タ計リ經テ一般ノ勞働價金ヲ低下シ勞働者ノ生活程度ヲ障下スニ至ルヘ
シトハ此種俗諺者、信ル所ナラニモ是レ大に錯誤ナリ抑モ政費、大部
分ハ將來ニ收入ヲ生シ又ハ資本ヲ増殖又能ハサル所謂非經濟的経費
ニ属レ而シテ其ノ資源充租稅ハ種類ノ何れヲ問ハス志ク國民、資本若
久所得ヲ榨取セラレサルハナク租稅トシテ給付セラル、資本所得、大部分

ハソレ丈國ノ生産資本又ハ國民ノ蓄積ヲ減縮シテ産業經濟ノ基本ヲ消
耗ス故ニ財政ヲ緊縮シテ國民ノ負擔ヲ輕減セハ國民ハ之ニ由テ得免所
ラ浪費ニサル限り或ハ蓄積ニ或ハ生産資金ニ運用シ經濟的ニ利用
スヘキカ故ニ産業振興國家繁榮ノ基ヲ成スヲ得テノ粗稅トテ之ヲ政費
ノ資源ニ俟充場合比ニテ二重ノ効用ヲ圖工業及半工業ノ粗稅方粗稅輕減
ノ産業界ニ於ケル好影響ハ案外急速ミシテ政費削減ノ為官職ヲ失ヒタ
ル者等ハ間モナク新丸事業ニ吸收セラルヘク彼等一時ノ苦痛ハ決シテ更安
アルニ足ラヌ其ノ最モ著ニキ事例ハ北東合衆國ノ近情善クニテ證明ス同
國ノ和平復ト共ニ一方ニ軍隊ヲ解放シ他方ニ行政整理ヲ實行レ殊ニ
一九二一年ノ緊縮政策ニ着手セル結果同年五六月ノ文全國六百万以上
ノ失職者ヲ出セル後既更ニ陳乞カ如ク毫モ顧慮スル所ナク再秉鏡意
緊縮方針ヲ勵行シテ為産業復興ニ振興シ失職者月ト共ニ減少シ一九三
年末ニ殆ド其ノ全部ヲ斯葉ニ吸取レ昨一九三四年六景氣益良好ニシテ

年々財政の改善を期すに當り、國庫の積立は年々増加の一途を辿る。然るに、この間に財政の危機感が高まつて、財政の健全化が急務となつた。

勞働、需用後旺盛に赴き、實情ナルニ而无政府益堅縮方針、歩進メテ止ム事少故ニ産業之伴フテ益障盛ナシトト
抑モ財界、困僅今日、如ク深刻大ハ戰後、支動ニ加ルニ有史以來、大震害
遭遇ニシルカ為ナリト雖エ戰亂直後、財政當局者某ノ方針、誤り積
極政策ヲ提ナリ人心ノ浮華財界、狂熱ニ油ヲ注キルコト亦弊ア太羅アリ
故ニク救治方法ハ先ツ其ノ病源ヲ除去シ暫時財界、休養ヲ計ルニ妙
ハナレ、唯創痍、激甚ナルト整理、斷行ケ午後レ、憾ルトニ因リ本景氣
循勢ハ猶未継續セルヘシト雖モ、恰モ大患後、衰弱、如ク解カニ
ル塗路ニシテ是ヲ以テ緊縮方針、產物ナリト曰ク、理由ヲ見ス、實東ハ畢竟
時、就其積極政策、餘殃ト稱ス、思ニ積極政策ト、具體的如何ナル
モノ、意味スルカ普遍的ニ產業ヲ促進スヘキ純真な施設ナリト假定ズモ
是ハ絶對安靜ヲ要スル時、就ア活躍ヲ試ミレタルモノニシテ向大未タ其ノ時期
五万テス萬圓積極政策、名十、或ハ不急土地、鐵道ヲ建設シ或ハ特種ノ事

業ヲ保護ス等國民全般ノ負擔ニ因テ、局部ヲ固ナシトスルカキハ是ニ前
車覆轍ヲ踏襲シ病勢ヲ逆轉シテ救済、根據ヲ破壊スモノナリ。其
サルケンヤ

政府、緊縮毎ガ未ダ本會、期待ニ副ハサルコトハ既ニ說クカ如シ最近ニ於ケ
財政、實績ハ此ノ既定ノ誤ラサルコトヲ證明シテ、即ナ彼ノ程度ノ緊縮ニ
テハ新ニ増税シ若ハ國債ヲ増發スル必要無キナリ未ク減税ヲ試ミ又ハ
國債償却、餘裕ヲ得ル程、結果ニ到底不能ナヌニ因テ觀レヘ緊縮改
策ハ唯ニ之ヲ續行天、又要アルニシナラズ更ニ屢々強味ヲ加ヘ層々緊縮セ
リテ、當ルニヤサレハ當初、意志ヲ貫徹シ能ハス從テ末年度、豫算
編成ニ當ルテ、今年度ニ比シ更夫ナル節約、實ナニ莫サルヘカラス事固ヨ
容易ナシト雖モ軍備ニ於テハ勿論一般行政ニ亘リテモ猶ホ兄員欠費者
減スキモノ、學文庫禮ノ整理スキモノ多カルハ疑フ谷レス北未完叢書
カ最近四年間ニ斯行セん政費節約、實例ハ最モ参考ニ値スヒテ其梗

概ト陳ヘシ米主ハ一九二二年度ヲ始ナテ豫算及會計法ヲ實行シ中央財政上ニ一大改革ヲ施ス共ニ行政財政、整理堅縮ヲ目的トシタル政府事務統一委員會(ビジネス・オーガニゼーション、オフ、ガヴァメント)ナルモノヲ組織シ豫算局長トス氏當初之ニ生レ後ローハ氏之ヲ襲致グ)ヨ委員長トシ行政各部長ニ委員上ニ大統領ノ熟識尤指掌ナニ政費ヲ徹底的削減コソリ一九二一年六月第回委員會ヲ開キ甫末毎年二回之ヲ継続シテ本年六月第九回至リ其ノ間ノ努力實績歎稱ニ堪ヘサルモアリ今其成績ノ一斑^王觀ニ該委員會設立前年度即一九二二年度、歲出決算額(國債償却費及郵便事務費ヲ除ク)五十億千六百万弗ナリカ再後年々其額ヲ減少シテ國民負擔輕減コソリ本年度即一九二四年七月ヨリ一九二五年六月主ニ一年度、歲出推定額(國債償却費及郵便事務費ヲ除ク)ハ三十億三千五百万弗ニシテ既往四年間ニ於ケル歲出削減額實質三十億八千一百万弗ニ達シ昨年度ニ對シテ約二億弗、歲出減少示シ継テ歲入於テモ内地弗ニ達シ

稅并三閩稅收入約一億三千萬弗、減額ヲ量ニ居シリ而モ必要丸事葉、遂行ヲ急ラスヒテ道路費、如キ昨年度ニ比シ約二千万弗、增額ヲ投セリ國債ハ一九二二年度末ニ三百三十九億セナセ七百萬弗ヨリ本年六月ニ三百〇五億五千八百万弗ニ減シ其間三百四億二千六百万弗、償却ヲアシテ國債利子支拂額一九二二年度、十億弗ヨリ本年度、八億七千方弗ニ減少シテ一億三千方弗、輕減ヲ告ケル(政府事務統一委員會設立前六國債時價額面以下モリニ財政堅縮、結果今ハ額面以上ニ昇リ短期公債ノ發行條件モ漸次好轉、本年六月發行、三年利付一年期限、國庫証券ハ殆四倍ノ申込ニ達セん程ニシテ前記、最近四年間ニ於ケル國債利子減ナ額一億三千方弗、内三千方弗ハ國債、信用昇騰ヒテ其利率降下セリ結果ナリトフ大統領ノ明言元所據、ハ本年度、歲出入決算ハ約二億弗、國庫剩餘金ヲ生スヘク來年度、三季ナ更ニ三億九千万弗、剩餘ヲ生ス(キタヒテ此ノ餘裕ヲ粗稅、輕減ト國債、償還トニ充當凡決心、于ニ本年六月既ニ短期

（金債二億六千万弗ラ償却し本年秋議會ハ約三億弗減稅案を提出アル
決済ヲ有ヤリトキフ而モ大統領ハ建設的節約、必要ヲ力説シテ行政各部
、發債ヲ要請し國民、貿易、輕減シ産業、發展ニ資セサハシマサル）惟リ
（主政大統領、事務統一委員會ニ於て演説、拔抄参照）

米國之慣例ハ直ニ我國ニ移ス（カラサル）事情アリト雖モ断乎トシテ目的、貫
徹ニ努メ半途ニシテ遲疑ス（クロキコトナキ熱情ト奮闘トハ取テ以テ模範上先
足ルト）同時ニ緊縮政策、勵行ハ結局國運挽回、素地ヲ作ルノ効果顯著
丸ニトク證示スヘシ魏元財界ヲ觀ルニ其、疲弊サハ稍緩和、歸幸ニアラ
サルモ未ダ好轉ヲ宣言エリテ得ス物價勞銀及金利ハ未タ署レキ低下致
サス（田價、田價未タ拂タニカラス貨易）前途未ダ樂觀ヲ許サス事業
界ノ整理未完ヲセズ米國、實情ニ對比シ尠愧ニ堪ヘス又羣聖
堪ヘサルナリ

今後革ニ懸念、強行整理、遂國ニ因リ國債ハ大ニ節約セラシ財政、餘

祐ヲ見工ミ得ニ至ラヘ又ス是テ序ノ租税、輕減ヲ企畫スヘシ又豫算覧計
ニ於テ剰餘金ヲ見シトアラス之ヲ運用スルト止ム直ニ國債、償
却充當田ヘシ聞ク所據レハ大正十三年度ニ於テ九千二億二千八百四
剰餘金ヲ生スヘントテ累ニテ、然ラバ之ヲテ國債ヲ償却スベリ從來ノ如ク後年
度ノ財庫ニ保有スカラス本會ハ豫て規制ノ整理ハ減税ヲ有スノ意義也
於テ之ヲ決行ス（キコトヲ決議シ又會計組織ヲ整備、國庫剰餘金
シテ必ス國債ヲ償却ス（キコトヲ決議シ又カ財界、政治ハ國民、貿易、
輕減シ民力ノ休養ヲ謀ルニアラサレハ終ニ望可カヌ官民勤儉、結果
資金潤澤トカリア金利低下シ物價勞銀亦共に低廉シテ自生生產ヲ刺
戟不尋、茲ニ始ナテ財界ノ困復ヲ期定スルヲ得可ク商工振興、光明ヲ認
ムラ得ヘン斯、順境ニ到達セバ國民ハ鼓セストモ躁躍スヘク難タヌモ前
進スヘシ所謂積極的施設ハ民衆力佳ニテ之ヲ實行スル所機ア待ツ順
序トニヘシ

(財政大綱卷一) 本國之國庫(セイクラウ)、外債(ガイゼイ)、通商(ツムシヨウ)、軍事(ジンシキ)、

鐵道(テツドウ)、郵政(ヨウジヨウ)、國稅(クノホウ)、關稅(ケンホウ)、釐金(リキン)、

及於本國之國庫、外債、通商、軍事、鐵道、郵政、國稅、關稅、釐金等項、

今や政事端々先波聞キ記レ御調破裂、結果内閣改選ヲ見ニ至リ
シカ財政上、於テ、固く往來、方針ヲ續行し、着々トシテ成功ヲ收ルニアリ
ハ、嘗て益々堅縮政策、拠棄ハ國民全體、聲言ス、唯一部健
忘ニテ耐忍力乏シキモノ又、操機ヲ事トし即ち、有利ヲ射シトスモノ、誓
方、無ニサレ、失事ナ數者、愁訴ヲ誇張シテ或目的、冷利利用ニ過擧
スレテ賢明た我財政當局者、耳ヲ傾ケルヘキトハ、左倉、空ク信がル
所ナリト雖モ近ク、某年度豫算ヲ編成シ、其、他財政上、革新ヲ計畫シ
東ルキ議會ニ臨ク、準備ヲ為サシトスニ際シ、意見ヲ異ニテ政治家、
策勳、文人、學者、極々浮説妄語續生スヘキヨヒテ多ナニテモ之ニ寧
制セラし所信、斯行ニ弛緩ラ生エヌトアシラ恐シ、變心極矣能ク之
前講ヲ繰返シ、當局ノ顧ヲ請ヒ併セテ世論ニ訴ヘシト欲入
參照 来國政府事務統(委員會ニ於ル大統領)、演說概要ハ抄
訣ヲ主役ニ挿入、尤ニシテ其、抄次ハ追テ記寫シト

經濟研究會報告

七月二十三日總會於當局、議題ニシテ在、通り決議相成候間及報

告候

大正十四年八月八日

經濟研究會委員志士鐵次郎

左記

一、緊縮政策續行、闡充決議

本會本來、性質上建議書ヲ當局ニ提出スル等ハ、總當ナニヤルヲ
以テ從來主張ヲ更ニ強ク、般ニ發表ニ當局又有ヲ促スニ共輿論
喚起ヲ謀ルコト、シ其起稿ヲ委員ニ委任ス

二、本會日委員改選、件

本會委員ハ三年毎ニ改選スルコト、シ志士委員ハ留任トシ他、六
委員中半數ヲ此際改選スルコト、ス其留任者、退任者并ニ

後任者、選定ハ之ヲ志立委員三名ス

以上

右第二項、決議ニ基キ六委員、留任者退任者ヲ選定スル方
從来委員會出席少キ方ハ比較的多角ニテ留任上特ニ迷惑
ヲ感セラルヘキ推定、下ニ出席一度數ヲ標準トシテ留任退任
ヲ決スルコトニ定メ西尾豊、田中鐵三郎、植村俊平三君ヲ留
任者トシ池田成彬、渡邊鐵藏、成瀬義春三君ヲ退任者
ト決シ新任者三石橋湛山、田中次郎、志村源太郎三君ヲ選
定シ丈々通知ヲ了シ七月三十日ヲ以テ委員更任致候間右御諒
知被下度候

大正四年七月二十四日銀行俱樂部招待ニ漢堡獨逸物會專務理事
モーカ氏(John M. Mohr)當日講話概要

獨逸、戰爭、因ソ多大人力、資力ヲ失、又上平和條約國ヲ更ニ者ニキ損
失、地積合、富源、被ノ國力困憊、必要ル経費支フ、キ收入ナシ歳出入
不均衡ハアル、紙幣、増發、餘義ナシ、其、價值發行額、增加ニ従テ低
落ス、一方たゞ加ヘテ「山」地方ヲ占領、袁佛國軍ガ「マル」相場、低下ラ
ニ努力、結果益其、趨勢、速ナリ、紙幣價值低落、輸出、增加、商
業工農、隆盛、促スカ為メ利益ナリ、意見が、時行ハシモ、此、意見、譲多ア
居ルトハ、低落天連シテ現實、證明セラタ、通貨、膨脹、其、價值
、低下ハ、國、般、貯蓄ヘ、消耗、產業、流動資本、消失、中產階級
、貪、吝、怠、懈怠、人々、一片ノハニ、得ニク為メ終日、費ス程、有
様トナリ、收入、物價、關係全々乱、朝ニ懷ニ、紙幣、其、價值、畫半
減、夕ニ更ニ半減、元ト云々如キ有様トナリテ、貯藏セントスル、欲望、時々刻々、感ス